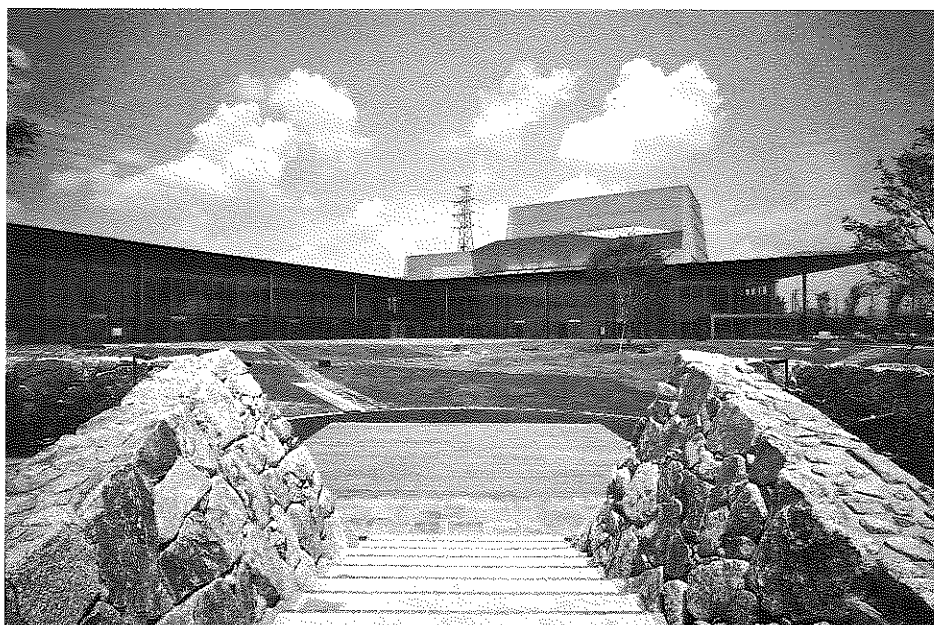


公益財団法人 可児市文化芸術振興財団・アニュアルレポート

KANI CITY ARTS FOUNDATION・ANNUAL REPORT

2022



公益財団法人 可児市文化芸術振興財団

も く じ

はじめに

可児市文化創造センター a l a、区切りの年でした。

I	公益財団法人可児市文化芸術振興財団の概要	
1	役員名簿	1
2	組織体制	2
3	令和4年度決算状況	3
II	可児市文化創造センター運営状況	
1	施設利用状況	9
2	来館者実績表	10
3	視察対応表	11
III	令和4年度事業報告	
1	事業一覧	12
2	鑑賞体験促進事業 事業報告	15
3	まち元気・市民交流促進事業 事業報告	28
4	共催事業 事業報告	61
5	その他公益目的事業 事業報告	66
6	新聞掲載記事	67
7	アーラフレンドシップ会員集計表	68
IV	施設概要	69

はじめに

日ごろは、市民の皆様をはじめとする関係各位には、可児市文化創造センターalaの活動にご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

令和4年度は、開館20周年及び市政施行40周年を迎えた記念すべき年となりました。こうした中、鑑賞事業では、市民が良質の文化芸術に触れることができるよう、音楽、演劇、伝統芸能、映画等、多分野に渡り事業を実施いたしました。また、アーラの一番の特色である「ala まち元気プロジェクト」を積極的に展開いたしました。コロナ禍の中、これまでなかなか実施できなかったワークショップや大型市民参加事業を実施する中で、改めて人と人のつながりの大切さを認識する機会になりました。

コロナ禍も3年目となる中で、基本的な感染対策を行いながら、以上のように一部を除きほぼ計画通り事業を実施することができ、市民の皆様のたくさんの笑顔に寄り添える「えがおの劇場」づくりを進めることができたと感じております。その1年間の成果を本冊子にまとめましたので、ご高覧いただき、ご意見などお寄せいただければ幸いです。

新型コロナウイルス感染症については、法律上の扱いが5類となり、本市においても以前の日常が戻りつつあります。今後は、コロナ禍からの脱却を図るべく、以前のアーラの賑わいを取り戻すことができるよう積極的に誘客に努めてまいります。また、電気料金の高騰など、劇場経営の環境は厳しさを増しておりますが、市民の自慢の施設として、全国の公立文化施設のモデルとなれるようこれからも努力を続けてまいります。

令和5年8月

公益財団法人 可児市文化芸術振興財団

理事長 高木 伸二

可児市文化創造センターala、区切りの年でした。

可児市文化創造センターala館長 籠橋義朗

令和4年度は可児市文化創造センターのオープンから20年目の記念すべき年でした。そして可児市の40周年の年でもありました。ということは、アーラは可児市制20周年の記念すべき年の中心事業として3年間の建設期間を経て祝祭ムードに包まれてオープンしたということです。私は当時の開館準備室に勤務しており、多忙を極めていたにもかかわらず、市民の夢の実現という熱気の渦中で奔走をしていたことを今でも鮮明に思い出します。そういう意味でアーラはとても順調に育ってきたといえます。その間に地域創造大賞(総務大臣賞)、平成30年度から文化庁関連の独立行政法人日本芸術文化振興会から劇場・音楽堂等機能強化推進事業の総合支援の区分で5年間の補助を受けることができました。このことはアーラの運営が文化芸術基本法の趣旨に則り、健全に運営されていることの証であると捉えることができると思います。社会包摂的な劇場運営においてのあるべき事業が経常的な事業として定着していることがわかります。

特にala Collection シリーズ vol.13「百日紅、午後四時」と大型市民参加事業「君といた夏」は多くのお客様と市民の参加でにぎわい、今後もアーラの看板事業として評価を得ていくものと思います。そして子どもたちに対する演劇や音楽を通じたコミュニケーション能力の向上ワークショップを全小中学校で開催することができました。これらのことから、アーラの活動が市民に理解されていることや、教育委員会をはじめとする可児市の各行政部門との連携が良好であり「可児市のまちづくり」に大きく貢献していることがわかります。

しかしながら、まだまだ「えがおの劇場」作りの途上であることは認識しています。文化芸術の進捗や成果は単年度で評価できるものではなく、振り返ってみたときに気付くものであり、到達点は無限の先にあるものだと思います。今回のレポートはその途上の成果であり、各方面からの評価もいただきたいと思います。

I 公益財団法人可児市文化芸術振興財団の概要

1 役員名簿

(令和5年3月31日現在)

[理事]

理 事 長	高 木 伸 二	可児市副市長
専 務 理 事	籠 橋 義 朗	可児市文化創造センター館長
常 務 理 事	杉 下 隆 紀	可児市文化創造センター事務局長
理 事	澤 野 親 司	NPO法人alaクルーズ理事長
理 事	高 島 勝	可児市ボランティア連絡協議会会長
理 事	藤 田 幸 夫	可児商工会議所会頭

[監事]

監 事	星 野 京 子	元可児市教育委員
監 事	渡 邊 和 幸	公認会計士

[評議員]

評 議 員	井 戸 勇 治	可児市小中学校校長会会長
評 議 員	各 務 眞 弓	NPO法人可児市国際交流協会事務局長
評 議 員	高 田 綾 子	可児市PTA連合会子育て委員長
評 議 員	武 井 祐 子	可児交響楽団団長
評 議 員	竹 谷 雅 彦	可児市地区センター連絡協議会副会長
評 議 員	谷 口 公 一	株式会社ケーブルテレビ可児代表取締役社長
評 議 員	田 牧 茂 樹	元東濃信用金庫専務理事
評 議 員	津 田 敬 一	可児市民第九合唱団顧問
評 議 員	成 松 誠 一	可児市文化協会会長
評 議 員	濱 田 卓 司	可児市自治連絡協議会会員
評 議 員	堀 部 好 彦	可児市教育長
評 議 員	吉 鷹 奈 津 子	ピアニスト

2 組織体制

(令和5年3月31日現在)

役員

理事会

理事長
高木 伸二

理事 5名

監事

監事 2名

評議員会

評議員 12名

事務局

館長
籠橋 義朗

事務局長
杉下 隆紀

総務課長
脇坂 忠志

4名

総務係長
(脇坂 忠志)

是枝 顕

橋本 加永子

(河合さつき)

顧客コミュニケーション室長
栗田 康弘

5名

顧客コミュニケーション係長
渋谷 江厘

松浦 正和

河合さつき

舘林 史佳

事業制作課長
坂崎 裕二

6名

事業制作係長
澤村 潤

中尾 栄治

小谷 猛

半田 将仁

吉川 真以

施設舞台課長
小川 省吾

7名

舞台技術係長
山崎 昌伸

池田 勇人

加藤 元基

鶴田 浩

小平 定幸

施設係長
(小川 省吾)

齋藤 英子

※ () は兼務

合計23名

各課の役割

総務課

人事、経理、契約、文書管理、規程類の管理、理事会・評議員会の事務、その他庶務

顧客コミュニケーション室

広報・宣伝（ホームページ・チラシ・ポスター・ala TIMES等）、チケット管理、アアラフレンドシップ会員管理、ブランディング、専門家育成、市民ボランティア組織育成・支援

事業制作課

鑑賞型・創造型事業の実施、講座系事業の実施、アウトリーチの実施、市民の文化芸術活動支援

施設舞台課

施設の維持管理、貸館、情報コーナーの管理

【舞台】舞台機構の管理・操作、自主事業における舞台監督

【照明】舞台照明設備の管理・操作、自主事業における照明プラン・オペレート

【音響】音響設備の管理・操作、自主事業における音響プラン・オペレート

3 令和4年度決算状況

貸借対照表

令和5年3月31日現在
(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資 産 の 部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金預金	35,492,274	29,950,668	5,541,606
現金	1,260,835	1,093,067	167,768
普通預金	34,231,439	28,857,601	5,373,838
現金預金合計	35,492,274	29,950,668	5,541,606
(2) その他流動資産			
未収金	53,356,421	35,249,726	18,106,695
前払金	1,045,415	851,087	194,328
仮払金	10,144,500	12,114,600	△ 1,970,100
商品	917,172	926,590	△ 9,418
貯蔵品	10,000	0	10,000
その他流動資産合計	65,473,508	49,142,003	16,331,505
流動資産合計	100,965,782	79,092,671	21,873,111
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産投資有価証券	59,968,361	39,976,790	19,991,571
基本財産積立預金	40,031,639	60,023,210	△ 19,991,571
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	17,438,685	12,824,603	4,614,082
特定資産合計	17,438,685	12,824,603	4,614,082
(3) その他固定資産			
車両運搬具	7,004,800	7,004,800	0
車両運搬具減価償却累計額	△ 5,653,118	△ 5,202,558	△ 450,560
什器備品	3,079,600	2,319,500	760,100
什器備品減価償却累計額	△ 1,049,549	△ 702,182	△ 347,367
預託金	33,840	33,840	0
ソフトウェア	1,434,070	1,949,750	△ 515,680
その他固定資産合計	4,849,643	5,403,150	△ 553,507
固定資産合計	122,288,328	118,227,753	4,060,575
資産合計	223,254,110	197,320,424	25,933,686
II 負 債 の 部			
1. 流動負債			
未払金	46,023,880	38,009,838	8,014,042
前受金	19,425,350	12,756,150	6,669,200
預り金	2,195,359	3,435,867	△ 1,240,508
流動負債合計	67,644,589	54,201,855	13,442,734
2. 固定負債			
退職給付引当金	17,438,685	12,824,603	4,614,082
固定負債合計	17,438,685	12,824,603	4,614,082
負債合計	85,083,274	67,026,458	18,056,816
III 正 味 財 産 の 部			
1. 指定正味財産			
寄付金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	100,000,000	0
2. 一般正味財産			
正味財産合計	38,170,836	30,293,966	7,876,870
負債 及び 正味財産合計	223,254,110	197,320,424	25,933,686

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで
(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	300,714	286,878	13,836
基本財産運用益計	300,714	286,878	13,836
事業収益			
入場料収益	43,808,025	26,869,750	16,938,275
参加料等収益	750,600	335,400	415,200
講座受講料収益	843,500	954,000	△ 110,500
物品等販売収益	63,500	31,900	31,600
利用料金収益	33,282,550	22,932,900	10,349,650
販売手数料収益	502,871	156,731	346,140
公演事業収益	18,021,982	3,710,370	14,311,612
指定管理受託収益	438,000,000	438,000,000	0
文化振興事業受託収益	7,902,555	5,937,450	1,965,105
事業収益計	543,175,583	498,928,501	44,247,082
受取補助金等			
受取国庫補助金	6,000,000	0	6,000,000
受取その他公益団体等補助金	57,817,000	32,208,000	25,609,000
受取国庫助成金	0	907,000	△ 907,000
受取補助金等計	63,817,000	33,115,000	30,702,000
受取負担金			
受取負担金	31,177,000	5,000	31,172,000
受取負担金計	31,177,000	5,000	31,172,000
受取寄付金			
受取その他寄付金	825,600	630,000	195,600
受取寄付金計	825,600	630,000	195,600
雑収益			
雑収益	3,423,979	1,243,937	2,180,042
雑収益計	3,423,979	1,243,937	2,180,042
引当金取崩額			
退職給付引当金取崩額	0	2,439,425	△ 2,439,425
引当金取崩額計	0	2,439,425	△ 2,439,425
経常収益計	642,719,876	536,648,741	106,071,135
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	131,260,098	121,571,439	9,688,659
臨時雇賃金	3,748,599	3,597,037	151,562
福利厚生費	25,295,840	24,056,291	1,239,549
食料費	785,335	332,085	453,250
旅費交通費	11,322,577	5,394,645	5,927,932
通信運搬費	4,099,758	3,710,848	388,910
減価償却費	1,829,339	902,012	927,327
車両運搬具減価償却費	382,976	382,976	0
什器備品減価償却費	746,864	268,152	478,712
ソフトウェア償却	699,499	250,884	448,615
消耗品費	8,813,291	7,715,779	1,097,512
修繕費	3,773,068	5,273,907	△ 1,500,839
印刷製本費	9,022,474	7,175,059	1,847,415
燃料費	166,708	126,854	39,854
光熱水費	61,092,752	41,845,132	19,247,620
使用料	0	200	△ 200
賃借料	14,431,493	10,157,992	4,273,501
保険料	799,472	703,191	96,281
諸謝金	9,687,566	5,865,597	3,821,969
租税公課	12,631,024	14,899,936	△ 2,268,912
支払負担金	3,822,088	3,166,020	656,068
支払助成金	1,400,000	1,500,000	△ 100,000
支払寄付金	147,321	20,964	126,357

科 目	当年度	前年度	増減
委託費	270,318,770	250,820,728	19,498,042
手数料	8,396,598	9,009,000	△ 612,402
広告料	3,006,300	2,704,800	301,500
雑費	840,532	163,691	676,841
事業費計	586,691,003	520,713,207	65,977,796
管理費			
給料手当	13,216,768	12,118,549	1,098,219
臨時雇賃金	370,741	355,751	14,990
退職給付費用	0	2,439,425	△ 2,439,425
福利厚生費	2,501,786	2,379,193	122,593
食料費	821	468	353
旅費交通費	98,404	32,800	65,604
通信運搬費	70,691	87,812	△ 17,121
減価償却費	183,868	101,728	82,140
車両運搬具減価償却費	67,584	67,584	0
什器備品減価償却費	47,103	9,331	37,772
ソフトウェア償却	69,181	24,813	44,368
消耗品費	546,729	457,344	89,385
修繕費	372,258	518,152	△ 145,894
印刷製本費	15,299	12,265	3,034
燃料費	16,191	12,546	3,645
光熱水費	6,042,140	4,138,529	1,903,611
賃借料	377,898	355,482	22,416
保険料	70,884	66,044	4,840
租税公課	3,248,646	1,608,064	1,640,582
支払負担金	29,595	263,543	△ 233,948
委託費	16,318,488	16,698,849	△ 380,361
手数料	55,814	69,972	△ 14,158
雑費	900	454	446
管理費計	43,537,921	41,716,970	1,820,951
引当金繰入額			
退職給付引当金繰入額	4,614,082	465,328	4,148,754
引当金繰入額計	4,614,082	465,328	4,148,754
経常費用計	634,843,006	562,895,505	71,947,501
評価損益等調整前当期経常増減額	7,876,870	△ 26,246,764	34,123,634
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	7,876,870	△ 26,246,764	34,123,634
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益			
車両運搬具売却益	0	243,619	△ 243,619
固定資産売却益計	0	243,619	△ 243,619
経常外収益計	0	243,619	△ 243,619
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	243,619	△ 243,619
税引前当期一般正味財産増減額	7,876,870	△ 26,003,145	33,880,015
当期一般正味財産増減額	7,876,870	△ 26,003,145	33,880,015
一般正味財産期首残高	30,293,966	56,297,111	△ 26,003,145
一般正味財産期末残高	38,170,836	30,293,966	7,876,870
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	138,170,836	130,293,966	7,876,870

財産目録

令和5年3月31日現在
(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
	現金	手元保管	通常釣銭他	1,260,835
	普通預金	東濃信用金庫／可児0703355 他	運転資金として	34,231,439
	未収金	独立行政法人日本芸術文化振興会 他	令和4年度劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業補助金 他	53,356,421
	前払金	日本郵便(株) 他	令和5年度委託契約用収入印紙 他	1,045,415
	仮払金	多治見税務署	消費税及び地方消費税中間申告	10,144,500
	商品	手元保管	販売用	917,172
	貯蔵品	手元保管	収入印紙	10,000
流動資産合計				100,965,782
(固定資産)				
基本財産	基本財産投資有価証券	東濃信用金庫／可児	長期利付国債 他 公益目的保有財産であり、事業の財源として使用	59,968,361
	基本財産積立預金	東濃信用金庫／可児		40,031,639
特定資産	退職給付引当資産	東濃信用金庫／可児		17,438,685
その他固定資産	車両運搬具	手元保管	トヨタ：ハイエース スズキ：エブリィ トヨタ：エスティマ 公益・収益目的事業、管理運営共有財産である 使用割合 公益：収益：管理運営=78:7:15	7,004,800
	車両運搬具減価償却累計額			△ 5,653,118
	什器備品		断裁機、芝生 他	3,079,600
	什器備品減価償却累計額			△ 1,049,549
	預託金	(公財)自動車リサイクル促進センター		33,840
	ソフトウェア		給与・施設管理システム	1,434,070
固定資産合計				122,288,328
資産合計				223,254,110
(流動負債)				
	未払金	中部電力(株) 他	電気料金3月分 他	46,023,880
	前受金	利用者 他	令和5年度施設利用料 他	19,425,350
	預り金	多治見税務署 他	3月支払報酬源泉所得税 他	2,195,359
流動負債合計				67,644,589
(固定負債)				
	退職給付引当金			17,438,685
固定負債合計				17,438,685
負債合計				85,083,274
正味財産				138,170,836

財務諸表に対する注記

公益財団法人可児市文化芸術振興財団

令和5年3月31日現在

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…償却原価法（定額法）によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は、原価法であり、評価方法は最終仕入原価法で行っている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却方法は、定額法で行っている。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金…全職員が期末に自己都合退職するとして仮定して算出した必要額から、独立行政法人勤労者退職金共済機構・中小企業退職金共済事業本部への掛金に基づき算出した退職金相当額を控除した残額に相当する額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が、借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっている。

(6) 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産投資有価証券	39,976,790	39,991,571	20,000,000	59,968,361
基本財産積立預金	60,023,210	20,024,547	40,016,118	40,031,639
小計	100,000,000	60,016,118	60,016,118	100,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	12,824,603	4,614,082	0	17,438,685
小計	12,824,603	4,614,082	0	17,438,685
合計	112,824,603	64,630,200	60,016,118	117,438,685

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。（単位：円）

科目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
基本財産投資有価証券	59,968,361	59,968,361	0	0
基本財産積立預金	40,031,639	40,031,639	0	0
小計	100,000,000	100,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	17,438,685		0	17,438,685
小計	17,438,685		0	17,438,685
合計	117,438,685	100,000,000	0	17,438,685

4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、額面価格及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、額面価格及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価格	額面価格	評価損益
国債（第332回長期利付10年）	19,989,350	20,000,000	10,650
国債（第368回長期利付10年）	39,969,011	40,000,000	30,989
合計	59,958,361	60,000,000	41,639

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
受取国庫補助金(文化芸術振興費補助金(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業))(石川さゆりコンサート)	文化庁	—	6,000,000	6,000,000	—	一般正味財産
受取その他公益団体等補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業))	(独)日本芸術文化振興会	—	48,464,000	48,464,000	—	一般正味財産
受取その他公益団体等補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業))(百日紅、午後四時)	(独)日本芸術文化振興会	—	2,643,000	2,643,000	—	一般正味財産
受取その他公益団体等補助金(地域の文化・芸術活動助成事業)(「百日紅、午後四時」)	(一財)地域創造	—	5,000,000	5,000,000	—	一般正味財産
受取その他公益団体等補助金(地域の文化・芸術活動助成事業)(「あーとま塾」)	(一財)地域創造	—	1,710,000	1,710,000	—	一般正味財産
負担金						
受取負担金(基本協定第36条 リスク分担 エネルギー価格高騰)	可見市	—	10,400,000	10,400,000	—	一般正味財産
受取負担金(基本協定第36条 リスク分担 利用者減、物価高騰)	可見市	—	20,000,000	20,000,000	—	一般正味財産
受取負担金(エイブルアート展共同実施)	可見市	—	672,000	672,000	—	一般正味財産
受取負担金(ベイビーシアター会場運営)	(公財)愛知県文化振興事業団	—	100,000	100,000	—	一般正味財産
受取負担金(紙芝居一座公演)	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)	—	5,000	5,000	—	一般正味財産
合計		0	94,994,000	94,994,000	0	—

附属明細書

(1) 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載済みであり省略している。

(2) 引当金の明細

財務諸表の注記に記載済みであり省略している。

Ⅱ 可児市文化創造センター運営状況

1 施設利用状況

(1) 諸室稼働状況

(単位：日)

施設	令和3年度			令和4年度		
	使用日数	使用可能日数	使用率	使用日数	使用可能日数	使用率
主劇場（宇宙のホール）	74	256	28.9%	145	283	51.2%
小劇場（虹のホール）	104	256	40.6%	141	282	50.0%
音楽ロフト	175	277	63.2%	220	304	72.4%
演劇ロフト	192	278	69.1%	245	305	80.3%
美術ロフト	134	275	48.7%	198	305	64.9%
演劇練習室	185	276	67.0%	251	305	82.3%
音楽練習室1	64	195	32.8%	134	306	43.8%
音楽練習室2	13	195	6.7%	39	285	13.7%
音楽練習室3	34	194	17.5%	97	306	31.7%
映像シアター	89	277	32.1%	94	303	31.0%
ギャラリー	131	277	47.3%	167	306	54.6%
ワークショップルーム（洋室）	168	277	60.6%	219	306	71.6%
ワークショップルーム（和室）	159	277	57.4%	235	306	76.8%
レセプションホール	116	276	42.0%	188	306	61.4%
合計	1,638	3,586	45.7%	2,373	4,208	56.4%
利用料金収入	22,932,900円			33,282,550円		

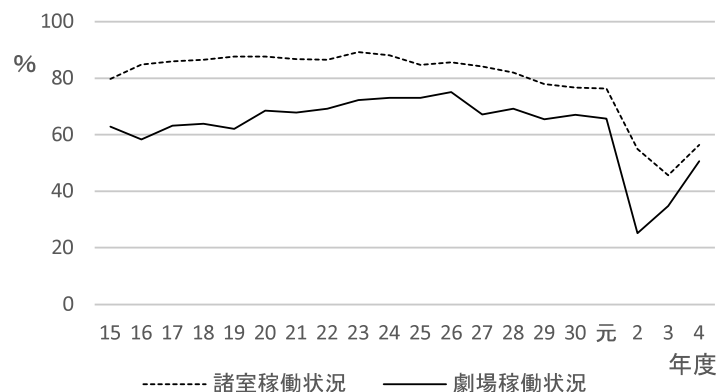
※令和4年度利用料金収入は令和3年度前受金（12,099,050円）を加え、令和5年度利用分の前受金（11,530,350円）を除いて集計しています。

(2) 劇場稼働状況

(単位：日)

施設	令和3年度			令和4年度		
	使用日数	使用可能日数	使用率	使用日数	使用可能日数	使用率
主劇場（宇宙のホール）	74	256	28.9%	145	283	51.2%
小劇場（虹のホール）	104	256	40.6%	141	282	50.0%
劇場小計	178	512	34.8%	286	565	50.6%

使用率推移

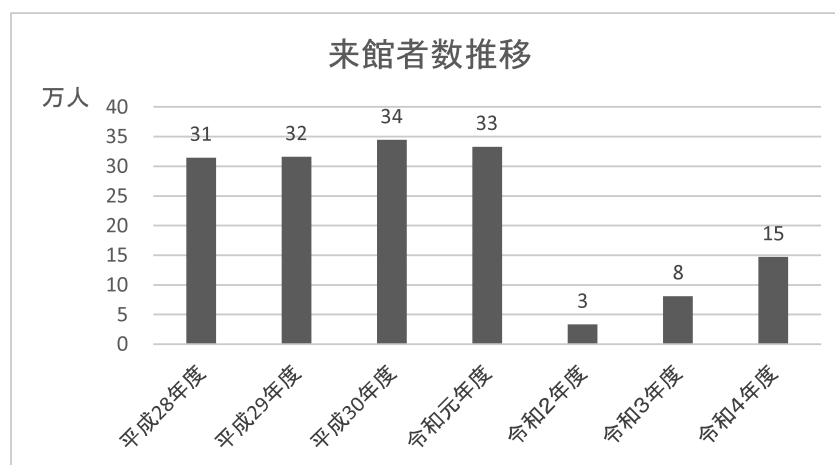


2 来館者実績表

(単位：人)

月	平成28年度 利用者数	平成29年度 利用者数	平成30年度 利用者数	令和元年度 利用者数	令和2年度 利用者数	令和3年度 利用者数	令和4年度 利用者数	同期増減率
4月	19,610	21,085	19,443	15,813		4,642	6,650	143.26%
5月	21,509	22,331	19,121	17,127		4,320	7,258	168.01%
6月	22,518	21,268	22,211	23,103		4,268	9,433	221.02%
7月	24,177	21,063	24,393	25,436		6,981	13,869	198.67%
8月	25,171	24,161	26,791	26,844		9,847	11,301	114.77%
9月	26,020	20,503	23,215	25,337		0	7,989	—
10月	43,711	52,269	25,510	54,025	4,469	5,891	11,046	187.51%
11月	29,337	28,900	77,302	59,411	8,925	14,492	23,525	162.33%
12月	25,664	23,461	24,761	27,404	5,386	6,845	10,616	155.09%
1月	32,972	35,293	35,950	20,257	2,647	9,248	19,684	212.85%
2月	20,471	22,289	23,006	34,938	3,553	4,396	13,034	296.50%
3月	23,346	23,433	22,936	3,267	8,256	10,137	12,702	125.30%
計	314,506	316,056	344,639	332,962	33,236	81,067	147,107	181.46%
月平均	26,209	26,338	28,720	27,747	5,539	6,756	12,259	

令和3年9月は感染
防止のため全休館



3 視察対応表

視察日	視察者	人数	視察内容
6月10日	可児市立今渡南小学校（5年生3クラス）	96	施設見学
7月6日	長野県飯田市教育委員会 文化会館	5	視察
9月8日	可児市人事課（インターンシップ）	6	施設見学
9月11日	おおぶ文化交流の杜	16	視察
9月14日	岡山理科大学工学部建築学科	10	施設見学
9月29日	可児市人事課（採用1年目職員）	15	施設見学
10月5日	可児市立南帷子小学校	60	施設見学
11月16日	早稲田大学人間科学部人間環境学科	1	調査
11月17日	早稲田大学人間科学部人間環境学科	1	調査
11月21日	名古屋芸術大学	2	インターンシップ
11月24日	名古屋芸術大学	2	インターンシップ
11月24日	帝京大学可児小学校2年生	29	施設見学
11月27日	名古屋芸術大学	2	インターンシップ
12月23日	名古屋芸術大学	7	施設見学
1月18日	滋賀県野洲市議会文教福祉常任委員会	6	視察
2月6日	茨城県小美玉市文化スポーツ振興部生活文化課	1	視察
2月10日	可児市立東明小学校 家庭教育学級	4	施設見学
3月10日	可児市立西可児中学校	120	施設見学
合 計		383	

Ⅲ 令和 4 年度事業報告

1 令和4年度 事業一覧

【公益目的事業会計-鑑賞体験促進事業(自主事業-公演)】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
文学座公演「欲望という名の電車」	小劇場	472	410	86.9%	※3,040,795	3,964,949	76.7%	15
風間杜夫の名人会	小劇場	285	141	49.5%	372,750	839,658	44.4%	16
新日本フィルハーモニー交響楽団 サマー・コンサート2022 (中止)	主劇場	出演者の新型コロナ感染により中止			※177,797	280,065	63.5%	—
新日本フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤー・コンサート2023	主劇場	945	815	86.2%	※7,864,684	7,863,573	100.0%	17
かに寄席 「新緑落語会」	小劇場	263	84	31.9%	123,400	470,547	26.2%	18
かに寄席 納涼	主劇場	941	937	99.6%	3,058,400	2,079,096	147.1%	19
かに寄席 初席	主劇場	939	562	59.9%	1,654,700	1,968,632	84.1%	20
音楽の絵本 フェアリーテール	主劇場	680	633	93.1%	936,000	1,922,746	48.7%	21
反田恭平プロデュース ジャパン・ナショナル・オーケストラ	主劇場	971	971	100.0%	※6,411,404	4,754,209	134.9%	22
東日本大震災復興支援 祈りのコンサート2023	主劇場	938	426	45.4%	380,000	380,000	100.0%	23
アール・キネマ倶楽部	映像シアター	2,417	1,334	55.2%	816,950	1,442,037	56.7%	24
アール映画祭2022	映像シアター	837	641	76.6%	568,350	1,232,553	46.1%	25
計		9,688	6,954	71.8%	25,405,230	27,198,065	93.4%	

【公益目的事業会計-まち元気・市民交流促進事業(自主事業-展示)】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
エイブル・アート展	美術ロフト	—	656	—	683,929	1,053,847	64.9%	28
計		—	656	—	683,929	1,053,847	64.9%	

【公益目的事業会計-まち元気・市民交流促進事業(自主事業)】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
シリーズ恋文 vol.12	小劇場	513	361	70.4%	※2,515,507	3,363,943	74.8%	29
ala Collection シリーズ vol.13 「百日紅、午後四時」可児公演	小劇場	1,450	1,240	85.5%	※26,683,243	27,956,441	95.4%	30
ala Collection シリーズ vol.13 「百日紅、午後四時」東京公演	吉祥寺シアター	1,036	961	92.8%	4,058,500	9,427,741	43.0%	31
ala Collection シリーズ vol.13 「百日紅、午後四時」地方公演	全国4会館	2,291	2,049	89.4%	※18,794,982	12,023,195	156.3%	32
歌舞伎とおしゃべりの会	映像シアター 他	520	382	73.5%	※830,928	962,752	86.3%	33
森山威男ジャズナイト2022	主劇場	920	505	54.9%	※3,677,692	4,327,515	85.0%	34
大型市民参加事業「君といた夏～スタンドバイミー可児～」	主劇場	1,624	1,474	90.8%	※9,254,329	14,537,402	63.7%	35
森山威男ドラム道場	音楽ロフト	—	延べ216人	—	※2,110,858	2,454,600	86.0%	36
新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによるオープン・シアター・コンサート	主劇場	519	272	52.4%	※667,828	1,167,068	57.2%	37
親子de仲間づくりワークショップ	レパージュホール他	—	延べ555人	—	※1,127,430	2,214,702	50.9%	38
ココロとカラダの健康ひろば	—	—	延べ232人	—				
児童・生徒のためのココロとカラダワークショップ	市内小学校 他	—	911	—	※2,464,460	2,093,540	117.7%	39
スマイリングワークショップ	教育研究所	—		—				
多文化共生プロジェクト2022「BORDER」	演劇ロフト	—	91	—	※560,055	1,191,058	47.0%	40
紙芝居一座支援	マーノ	—	参加者12人 観客62人	—	※29,781	54,481	54.7%	41

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
アーラ・イルミネーション2022	ロビー	—	78	—	0	987,911	0.0%	42
劇場に関わる人のための アーツマーケティングゼミ 「あーとま塾 2022」	美術ロフト	—	136	—	※2,901,196	2,690,323	107.8%	43
アーラみんなのピアノプロジェクト	演劇練習室他	—	延べ562人	—	※412,082	652,045	63.2%	44
可児常磐津教室 巴瑠の会 令和4年度 おさらい会	小劇場	311	74	23.8%	0	3,234	0.0%	45
市民活動支援	—	—	—	—	※243,270	1,964,282	12.4%	—
第41回可児市美術展	ロフト、ギャラリー他	—	出展数262点 集客数1302人	—	2,505,000	2,344,113	106.9%	46
第30回可児市文芸祭	ギャラリー他	—	応募点数 3,842点	—	1,915,000	1,688,176	113.4%	47
可児市ジュニア音楽祭	主劇場	1019	700	68.7%	836,000	629,893	132.7%	48
文学座と作るファミリー舞台 文学座俳優のキッズワークショップ	演劇練習室、 演劇ロフト	—	ファミリー舞台 44人 キッズワーク ショップ 12人	—	※618,544	1,351,279	45.8%	49
おでかけ落語会	市内中学校	—	841	—	※160,852	318,605	50.5%	50
みんなが演奏者！一五一会ライブ！	市内中学校	—	170	—	※31,720	50,243	63.1%	51
みんなのディスコ	演劇ロフト	—	54	—	※199,264	401,411	49.6%	52
就学前教育教育のための非認知能力開発ワークショップ	美術ロフト他	—	74	—	※307,808	737,023	41.8%	53
平田オリザの「対話を考える」モデル授業	レパシオンホール	—	47	—	※85,631	200,624	42.7%	54
まちが元気になる処方箋	小劇場	123	114	92.7%	※127,036	452,421	28.1%	55
アーラ・シアター・カレッジ	市内各所	—	42	—	※265,566	362,748	73.2%	56
シリーズ恋文 vol.12 地方公演(中止)	上演会場の二ツ井町公民館の設備故障により中止						—	—
アーラ未来の演奏家プロジェクト2022	美術ロフト、市内小学校他	—	573	—	※408,993	697,062	58.7%	57
未来の演奏家コンサート	小劇場	125	77	61.6%				
斎藤龍ピアノ・リサイタル「行進曲」	小劇場	125	91	72.8%				
世界劇場会議国際フォーラム Final in可児	小劇場	—	165	—	※2,461,684	5,312,525	46.3%	58
世界劇場会議国際フォーラム Final inさいたま	さいたま市文化センター	—	64	—	1,870,000	1,139,186	164.2%	59
新日本フィルおでかけコンサート	市内小学校他	—	266	—	※432,838	969,140	44.7%	60
計		—	—	—	88,558,077	104,726,682	84.6%	

【共催事業等】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
第三回一五一会世界大会	主劇場	657	297	45.2%	78,750	5,000	1575.0%	61
オペラシアターこんにゃく座「森は生きている」	主劇場	722	532	73.7%	234,120	46,190	506.9%	62
新日本フィルメンバーと仲間たち	小劇場	313	197	62.9%	68,670	92,447	74.3%	63
ウィーンV.ルジェリウスピアノ三重奏団	小劇場	267	174	65.2%	39,690	92,013	43.1%	64
劇団うりんこバイビーシアター「MARIMO」	演劇ロフト	14	12	85.7%	100,000	59,761	167.3%	65
計		1,973	1,212	61.4%	521,230	295,411	176.4%	

【公益目的事業会計-共通事業】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
広報宣伝事業	—	—	—	—	903,070	17,422,140	5.2%	66
事業制作共通事業	—	—	—	—	1,410,555	2,697,096	52.3%	—
計		—	—	—	2,313,625	20,119,236	11.5%	

【収益事業等会計-鑑賞体験促進事業(自主事業-公演)】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
石川さゆりコンサート2022	主劇場	1,637	1,330	81.2%	14,650,200	10,527,049	139.2%	26
BEGIN ビギンの一五一会なコンサート	主劇場	967	967	100.0%	5,424,000	5,134,861	105.6%	27
計		2,604	2,297	88.2%	20,074,200	15,661,910	128.2%	

【施設管理・貸館事業会計】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
施設管理・貸館事業	—	—	—	—	34,970,771	258,016,859	13.6%	—
情報コーナー整備事業	—	—	—	—	0	360,985	0.0%	—
計		—	—	—	34,970,771	258,377,844	13.5%	

注) 公益法人会計のための事業への按分前の収支である。

【法人会計】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
財団運営管理事業	—	—	—	—	470,192,814	207,364,831	226.7%	—
文化芸術調査・研究事業	—	—	—	—	0	45,180	0.0%	—
計		—	—	—	470,192,814	207,410,011	226.7%	

注) 公益法人会計のための事業への按分前の収支である。

合計	642,719,876	634,843,006	101.2%
----	-------------	-------------	--------

注) ※印の事業の収入には(独)日本芸術文化振興会助成金(51,107,000円)及び(一財)地域創造助成金(6,710,000円)が含まれている。

2 鑑賞体験促進事業 事業報告

事業名		文学座公演 「欲望という名の電車」					
目的	平成 20 年アールと「地域拠点契約」を結び、14 年目を迎える文学座の作品を気軽に鑑賞できる機会を提供する。						
	「可見市において、日本を代表する演劇カンパニーの一つである文学座の最新作に触れることができる」という希少性は、これまでの実績からも可見市民に広く理解されてきている。令和 4 年度はテネシー・ウィリアムズの最高傑作にして、アメリカの演劇の不屈の名作『欲望という名の電車』を取上げる。欲望を渦巻きながら強烈な光を放つ約 70 年前の作品であるが、コロナ禍で孤独や孤立が生まれやすい現在だからこそ、その反射する光が観客の強い共感性を刺激することを期待したい。						
集客数	410 人	席数	472	集客率	86.9%	会場	小劇場
開催日時	令和 4 年 11 月 9 日（水）18 時開演 10 日（木）14 時開演						
チケット	全席指定 一般 4,000 円 25 歳以下 2,000 円						
出演者	山本郁子、鍛冶直人、助川清隆、渋谷はるか、中川雅子、大滝寛、沢田冬樹、千田美智子、柴田美波、西村知泰、磯田美絵、小林勝也						
市民参加	フロントスタッフ（ala クルーズ）						
事業内容	地域拠点契約としてこれまで ala Collection シリーズや市民参加公演の演出を務めた経験があり、多くの市民とのつながりを持つ高橋正徳の演出作品を上演することで、集客効果を高めることを期待した。ala Collection シリーズにも出演し、市民との繋がりのある鍛冶直人が主役を務めた。						
経費状況	収入	3,040,795 円	支出	3,964,949 円	収益率	76.7%	
アンケート結果	・ いつも演劇を観る時、引き込まれるまでに少し時間がかかるのですが、今回は幕が開いてからすぐ世界に引き込まれました。すごい！！ ・ 本格的で海外にいるかのような気持ちになりました。とても楽しかったです。 ・ 見たいと思っていた公演で、来て良かった。人間はいろいろ変わる者だと思いました。一度身に付いた暮らしは、なかなか変えられない。その悩みがわかるような気がする。						
成果	テネシー・ウィリアムズの名作として過年度の「ガラスの動物園」に引き続き、高橋正徳演出による「欲望という名の電車」を上演した。コロナ禍の閉塞感を打ち破るように、人間の欲望が渦巻きながら激しくぶつかり合う人間模様を克明に描き出した本作品は、公演満足度として良い・大変良いの回答が 86%と、大変好評であった。コロナ禍でアフタートークの実施は見送られたが、当センターになじみの深い演出家や出演者による座組で既につながりのある多くの市民に来場いただいたことで、市民と文学座とのつながりを維持継続する効果が見受けられた。また、企業や個人からの寄附により 1 名であったが青少年に鑑賞機会を提供し、ありがたいの手紙を通じて資金提供者とのつながり作りに貢献した。						



事業名

風間杜夫の名人会

目的 可児市民に質の高い舞台芸術の鑑賞の機会を提供することにより、可児市民の芸術活動を刺激し、可児市文化創造センターの利用者の発掘、鑑賞者の育成、芸術活動へのきっかけとなることを目的とする。

集客数 141人 席数 285 集客率 49.5% 会場 小劇場

開催日時 令和4年12月16日（金）18時開演

チケット 全席指定 一般 3,500円 25歳以下 1,750円

出演者 風間杜夫、古今亭菊之丞、金原亭駒平（前座）、麻生知沙（トーク司会）

市民参加 フロントスタッフ（alaクルーズ）

俳優の風間杜夫と落語家の古今亭菊之丞による落語会を開催した。ゲストに落語家を招き、変化をつけた。

事業内容 【落語】金原亭駒平：「子ほめ」
古今亭菊之丞：落語「幾代餅」
風間杜夫：落語「湯屋番」
【トークショー】風間杜夫、麻生知沙（司会進行）

経費状況 収入 372,750円 支出 839,658円 収益率 44.4%

アンケート結果
・毎年、風間杜夫さんの落語、楽しみです。
・想像以上に面白かった。また来たいです。ゲストも良かった。
・今日は名人風間杜夫さんの話を期待して来ました。座席にきれいな“バラの花”が！誕生祝いでびっくり！丁度80年人生過ぎて、ありがとうございます！なによりも健康に過ごせた事です。年間6～7回？アーラに通い、映画、演劇、寄席を観ることができて幸せに感じます。アーラのスタッフの方々にも御礼申し上げます。今後も良い内容のプログラムを期待します。

成果 毎年恒例の風間杜夫落語独演会に対して、今年度は古今亭菊之丞をゲストに迎えマンネリは打破できたものの、それによって集客が伸びたとは言えず、経費が嵩む結果となった。もともとアーラのお客様は夜の回を控える傾向が強く、目標とした数値を大幅に下回ることとなったため、次年度は昼の公演とする。



事業名	新日本フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤー・コンサート 2023		
目的	可見市民に質の高い舞台芸術の鑑賞の機会を提供することにより、可見市民の芸術活動を刺激し、アール利用者の発掘、鑑賞者の育成、芸術活動へのきっかけとなることを目的とする。		
集客数	815 人	席数 945	集客率 86.2%
会場	主劇場		
開催日時	令和5年1月9日（月・祝）16時開演		
チケット	全席指定 一般 7,000 円 25 歳以下 3,500 円		
出演者	指揮：角田鋼亮 管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団		
市民参加	フロントスタッフ（ala クルーズ）		
事業内容	【本公演】 J. ウィリアムズ：「スター・ウォーズ」よりメインタイトル、「ジュラシック・パーク」より テーマ、交響組曲「ハリー・ポッター」より I . ヘドウィグのテーマ、IV . ハリーの不思議な世界 久石譲：「となりのトトロ」より風の通り道、となりのトトロ J. シュトラウスⅡ：トリッチ・トラッチ・ポルカ、皇帝円舞曲、ポルカ「雷鳴と電光」、ポルカ「観光列車」、ワルツ「美しく青きドナウ」 【アンコール】 J. シュトラウスⅡ：ラデツキー行進曲		
経費状況	収入 7,864,684 円	支出 7,863,573 円	収益率 100.0%
アンケート結果	・今回のコンサートはとても親しみやすい曲目ばかりで楽しませていただきました。最初の曲から凄い迫力で、オケの皆さんの意気込みが伝わってきました。角田さんのお話が分かりやすく、ハッキリとしていて軽やかでとても好感が持てました。 ・ホールが素敵です。毎年開催してほしいです。ラデツキー最高でした！スタッフの方の対応も良かったです。 ・クラシックだけでなく映画音楽も聴けて良かったです。特に最初のスターウォーズは凄い迫力でした。途中観光列車では楽しい演出があり、あっという間のコンサートでした。		
成果	今回ニューイヤー・コンサートに初登場の若手指揮者を起用したが、プログラムの前半を映画音楽とし選曲を工夫した結果、当日券が150枚近く出るなど、入場者数の増加につながった。従来のニューイヤー・コンサートとは趣向の異なるプログラムだったが、アンケートで97%が「大変良い」「良い」と回答しており、満足度の高い公演となった。またアンケート結果でもこれまで少なかった10代の回答が増えており、新しい客層の開拓につながった。		



事業名		かに寄席 新緑落語会					
目的	「楽しむ」をテーマとし、若者からお年寄りまで幅広く人気を集める落語を公演し、来場者に大いに笑いを楽しんで頂く。						
	人気の若手落語家を中心に、気軽に落語を楽しめる公演を小劇場で行う。 若手の中でも実力、人気を備えた落語家を顔付けし、低価格で親しみやすい落語会を実施する。						
集客数	84人	席数	263	集客率	31.9%	会場	小劇場
開催日時	令和4年5月3日（火・祝）14時開演						
チケット	全席指定 一般 2,000円 25歳以下 1,000円						
出演者	林家たま平、笑福亭茶光、林家ぼん平（前座）						
市民参加	フロントスタッフ（alaクルーズ）						
事業内容	今後の活躍を期待される二つ目を中心に構成した若手落語家による寄席公演。						
	【番組】						
	林家ぼん平（前座）：子ほめ 林家たま平：反対俤 笑福亭茶光：竹の水仙 笑福亭茶光：動物園 林家たま平：死神						
	【関連企画】 バースデーサプライズ6人（薔薇とカードを進呈）、アンケート回答者に抽選でサイン色紙プレゼント						
経費状況	収入	123,400円	支出	470,547円	収益率	26.2%	
アンケート結果	・たま平さん、茶光さんとも初めて拝見しましたが、とても面白かったです！！二つ目の寄席も開口一番でしか観たことがなかったのですが、お二人とも真打ちと思えるほどの話芸でした。また近くで会があれば参加させてもらいますね！かに寄席、今年もチケット購入しました。楽しみにしています！ ・初めて来たが、思っていたより楽しめた。落語家の方の熱量がすごく引き込まれた。						
成果	「小劇場で落語がみたい」「若手の落語を聞きたい」というリクエストに応える形で、二つ目による落語会を開催したが、今回の出演者の知名度が低く、チケットの売れ行きが芳しくなかったため、急遽出演者の動画コメントの依頼をして、広報宣伝を行った。年に1度の開催で、2名の落語家を選ぶ形になるので、出演者選びが非常に重要である。近隣会館での出演状況など情報収集を行い、年に一度の高座に合う出演者を選定していく必要がある。						

事業名		かに寄席 納涼			
目的	「楽しむ」をテーマとし、若者からお年寄りまで幅広く人気を集める落語を公演し、来場者に大いに笑いを楽しんで頂く。 また、恒例行事化することで、可見市やアーラへの親しみ、季節感が感じられる催しを目指す。				
集客数	937 人	席数	941	集客率	99.6%
会場	主劇場				
開催日時	令和4年7月31日（日）14時開演				
チケット	全席指定 一般 4,000 円 25 歳以下 2,000 円				
出演者	春風亭昇太、桂宮治、雷門音助、林家さく平、三増紋之助（曲独楽）				
市民参加	フロントスタッフ（ala クルーズ）				
事業内容	【番組】 林家さく平（前座）：初天神 雷門音助：宮戸川 桂宮治：皿屋敷 三増紋之助：曲独楽 春風亭昇太：二十四孝 【関連企画】 のぼり立て、浴衣での来場者到大入り袋進呈、アンケート回答者に抽選で出演者サイン色紙、手ぬぐいプレゼント				
経費状況	収入	3,058,400 円	支出	2,079,096 円	収益率 147.1%
アンケート結果	・ 以前から気になってはいたのですが、今回チラシを見て、とてもいい企画が多く、会員登録させていただきました。少し暑かったけれど頑張って着物を着てきたところ、かに寄席の福袋をいただき、席には思いがけず、真っ赤なバラが！一昨日誕生日の私はびっくり＆うれしい♡色々なお気遣い、本当にありがとうございました。 ・ 今回も楽しく落語を聞かせてもらいました。今後も数多くの落語会を開催してもらえると嬉しいです！！				
成果	集客率も 99% 超と、前年度を大きく上回り、アーラ会館 20 周年にふさわしい賑やかな公演となった。「笑点」の司会者と新メンバーが出演し、来場者の反応もよかった。				

事業名		かに寄席 初席					
目的		「楽しむ」をテーマとし、若者からお年寄りまで幅広く人気を集める落語を公演し、来場者に大いに笑いを楽しんで頂く。 また、恒例行事化することで、可見市やアーラへの親しみ、季節感に結び付く催しを目指す。					
集客数	562人	席数	939	集客率	59.9%	会場	主劇場
開催日時	令和5年1月22日（日）14時開演						
チケット	全席指定 一般 4,000円 25歳以下 2,000円						
出演者	五街道雲助、柳家三三、露の瑞、玉川奈々福（浪曲）、金原亭駒介（前座）						
市民参加	フロントスタッフ（alaクルーズ）						
事業内容	【番組】 金原亭駒介（前座）：たらちね 露の瑞：ちりとてちん 柳家三三：転宅 玉川奈々福（浪曲）：銭形平次捕物控－女流浪曲師殺人事件－ 五街道雲助：幾代餅 【関連企画】 のぼり立て、物販販売、着物での来場者に5円玉入り大入り袋進呈、アンケート回答者に抽選で出演者サイン色紙、手ぬぐいプレゼント						
経費状況	収入	1,654,700円	支出	1,968,632円	収益率	84.1%	
アンケート結果	・出演者の人選のすばらしさに毎回感心しています。名古屋から通う甲斐があります。今回も満足のいく語りをたっぷりきかせていただきました。ありがとうございます。ぜひ末永く続けて下さい。来年度も楽しみにしております。 ・毎年かに寄席を楽しみにしています。できるだけ長く続けて下さい。三三師匠、さすがです。瑞さん、場をあったかく盛り上げてくださりました。奈々福さん、サービスたっぷり。続きをー！！雲助師匠、完ぺき。噺の世界に入れて、現世を忘れられました。						
成果	のぼりの設置や、てぬぐいの制作や大入り進呈などの関連企画を継続することで、かに寄席ならではの賑わいを楽しんでいただける公演を目指した。またホワイエでは落語にちなみ、新春の福笑い企画も実施した。 手ぬぐい販売と、大入り袋の進呈については、毎年恒例になっているため、今後も継続したほうが良い。						



事業名	音楽の絵本 フェアリーテール			
目的	0歳から楽しめるクラシックコンサートで、親子が対等な立場でコンサートを楽しむことが目的。このコンサートの体験が、豊かな親子コミュニケーションを発展させていくきっかけとなることを目指す。			
集客数	633人	席数	680	集客率 93.1%
会場	主劇場			
開催日時	令和4年5月8日（日）13時30分開演			
チケット	全席指定 1,500円			
出演者	ズーラシアンブラス（金管五重奏）、弦うさぎ（ピアノ五重奏）			
市民参加	フロントスタッフ（alaクルーズ）			
事業内容	プロの演奏家が動物に扮して演奏する、親子で楽しめる本格的なクラシックコンサートを「母の日」に開催した。 【プログラム】 【第一部】 さくら幻想曲／わらの中の七面鳥／コッツウォルズの街並／ズーラシアンブラス・ファンファーレ／「ピーターパン」よりユー・キャン・フライ／マイ・ファニー・バレンタイン 【第二部】 旅するうさぎのダンス／誰も寝てはならぬ／踊ろう楽しいポーレチケ／L-O-V-E／この素晴らしい世界 【アンコール】 君の瞳に恋してる 終演後に中学生以下の子どもを対象にカーネーションを配布した。			
経費状況	収入 936,000円	支出 1,922,746円	収益率 48.7%	
アンケート結果	・来年も楽しみにしています。 ・対応もよくスムーズに鑑賞が出来たので良かったです。 ・毎年の母の日で覚えている。 ・いつも母の日にカーネーションをもらってお母さんに渡せるからいいです。			
成果	毎年母の日に実施し、カーネーションを配布することで、アーラの母の日の恒例行事として開催。例年開催している開場時のファンファーレ等、お客様と接触する演出については、今年度も新型コロナウイルスの感染予防のため中止とした。今回、チケットレスQ利用者が100名を超える公演だったが、案内板を作成しスムーズに入場していただくことが出来た。			



事業名	反田恭平プロデュース ジャパン・ナショナル・オーケストラ			
目的	可児市民に質の高い舞台芸術の鑑賞の機会を提供することにより、可児市民の芸術活動を刺激し、可児市文化創造センター利用者の発掘、鑑賞者の育成、芸術活動へのきっかけとなることを目的とする。			
集客数	971人	席数	971	集客率 100.0% 会場 主劇場
開催日時	令和4年11月2日（水）18時30分開演			
チケット	全席指定 一般 5,000円 25歳以下 2,500円			
出演者	反田恭平（指揮、ピアノ）、ジャパン・ナショナル・オーケストラ			
市民参加	フロントスタッフ（alaクルーズ）			
事業内容	人気・実力を兼ね備える若手ピアニスト、反田恭平が率いるオーケストラ「ジャパン・ナショナル・オーケストラ」による演奏会。コンサートマスターの岡本誠司をはじめ、新進気鋭の演奏家で構成された17名のメンバーとともに、反田が奏でる音楽の魅力を聴衆に向けて発信する。 【プログラム】 ・ベートーヴェン：「レオノーレ」序曲第3番 作品72b ・ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第4番 ト長調 作品58 ・モーツァルト：交響曲第38番 ニ長調 K.504「プラハ」 【アンコール】 ブラームス：ピアノのための6つの小品 作品118 より 第2曲 間奏曲 イ長調			
経費状況	収入 6,411,404円	支出 4,754,209円	収益率 134.9%	
アンケート結果	・あの反田さんが我が街、可児でご自身のオーケストラを率いての演奏、大変感動しました。ありがとうございました。 ・素晴らしい公演でした。リハーサルを観ることができ、又、写真撮影もしていただき、大変満足しております。良い思い出ができました。 ・バースデープレゼントに驚きました。ありがとうございます。オケの音が大変クリアで聴きやすく、各パートの演奏技術も高く感動しました。			
成果	ショパン国際ピアノコンクールで第2位となった反田恭平が出演するとあってチケットが即日完売となり、関心度の高さがうかがわれた。来場者アンケートも95%が「大変良い」「良い」と回答しており、満足度の高い公演となった。関東や関西、北陸からも来場者が来たことからアーラの新たな顧客の開発につながったとともに、ブランディングにも寄与した。			

事業名	東日本大震災復興支援 祈りのコンサート 2023 ～被災地へ届け、私たちは忘れない～			
目的	東日本大震災被災地の長く、そして困難な復興への応援として“アールとしてできることは何か”を考え、震災の記憶を風化させないよう、多くの犠牲になられた方々の鎮魂と、被災者の1日も早い心の復興を祈るコンサートを開催する。			
集客数	426人	席数	938	集客率 45.4%
会場	主劇場			
開催日時	令和5年3月11日（土）13時45分開演			
チケット	全席指定 1,000円			
出演者	田村響（ピアノ）、垣内響太（ヴァイオリン）、垣内絵実梨（スペシャルゲスト）、佐野秀典（ナビゲーター）			
市民参加	フロントスタッフ（alaクルーズ）			
事業内容	公演に関する印刷物や舞台装飾などは各企業の協賛により実施し、開場、休憩、終演後には募金活動を行った。集まった募金は事業利益と合わせて「公益社団法人宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター」、「宮古地域傾聴ボランティア・支え愛」、「気仙地域傾聴ボランティア こもれびの会」、「傾聴ボランティア こころのもり」に寄託した。 【プログラム】 J.S. バッハ：平均律クラヴィア曲集第1巻 第1番プレリュード J.S. バッハ：イタリア協奏曲より第2楽章 アンダンテ メンデルスゾーン：無言歌集より甘い思い出 ベートーヴェン：エリーゼのために ショパン：ピアノ・ソナタ第2番より第3楽章葬送行進曲 ショパン：ワルツ変ホ長調「華麗なる大円舞曲」 マスネ：タイスの瞑想曲 サラサーテ：ツイゴイネルワイゼン J.S. バッハ：G線上のアリア（管弦楽組曲 第3番 第2曲エール） J.S. バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番 第5曲シャコンヌ） クライスラー：愛の喜び クライスラー：愛の悲しみ クライスラー：美しきロスマリン 【アンコール】君といた夏、翼をください 【協賛】株式会社カラビナ、ホテルルートイン可児、株式会社松栄堂楽器 可児店、株式会社トイ・ファーム、株式会社ワズ・プランニング、岐阜県舞台設備管理事業協同組合、ハーモニーワークス、丸理印刷株式会社、じゃぱんSANDWICH			
経費状況	収入 380,000円	支出 380,000円	収益率	100.0%
アンケート結果	・ヴァイオリンの音色に圧倒されました。指で弾く演奏も素敵でした。19歳とお聞きしてこれからの活躍が楽しみです。それに妹さんの伸び伸びした弓使いに感動です。ピアノの演奏も良かったです。岐阜県民として誇らしいです。ナビゲーターからの解説、聞いたことのある曲が多くしっかり楽しめました。垣内響太さんが雲の上の人になる前に「アールでまた演奏したいな」と言っていたといいですね。 ・ピアノ・バイオリン共、心打たれるすばらしい演奏でした。又、聴きたいです。			
成果	岐阜県出身の垣内響太に出演依頼したことで、地元の知り合い等の集客につながった。東日本大震災から12年経っているが、今回の公演では来場者や市民の、募金したいという気持ちが強く感じられ、募金額もかなり集まるなどしたのでこれからも継続した方がよい事業であるいえる。			

事業名		アーラ・キネマ倶楽部					
目的		映画館のない可児において、定期的な映画上映を実施し、映画鑑賞のニーズを満たす。当日運営ボランティアスタッフを募集し、市民の文化芸術活動の促進を図る。					
集客数		1,334人	席数	2,417	集客率 55.2%	会場	映像シアター
開催日時		通年（事業内容参照）					
チケット		無料～900円					
市民参加		市民有志による実行委員					
事業内容		【キネマ倶楽部】4/10、11「ブックスマート 卒業前夜のパーティデビュー」5/22、23「モロッコ、彼女たちの朝」6/26、27「MINAMATAーミナマター」8/28、29「スウィング・キッズ」9/18、19「ファーザー 史上最高の演技」2/19、20「コーダ あいのうた」 【キネマキッズ】子供向けの無料上映会を開催した。7/23、24「スポンジ・ボブ 海のみんが世界をすく Woo!」3/25、26「長ぐつをはいたネコ」 【名作映画鑑賞会（令和4年度優秀映画推進事業）】35mmフィルムによる名作映画の上映を行った。10/2「ロックよ、静かに流れよ」「お引越し」10/3「櫻の園」「転校生」 ※関連企画として、4/10 ブックスマートアフタートーク福田茉奈さん、9/18 ファーザー 関連企画「人生100年おしゃべり広場」、2/19-20 コーダ上映後に映画雑談会を実施した。					
経費状況		収入	816,950円	支出	1,442,037円	収益率	56.7%
アンケート結果		・曾祖母や祖母と重なり、涙が出ました。感動しました。認知症にも、認知症だけでなく、睡眠が大事だと学んだ。普段、睡眠を犠牲にしてしまうことがあるので気をつけたいと思った。自分たちの知らないところで多くの人が悩んでいることを忘れずに、人との関わりを大切にしたい。（ファーザー鑑賞後） ・少しだけ手話を学び始めました。ろう者の方の世界をこの映画を通して一端を知ることができました。家族愛、ステキでした。（コーダ鑑賞後）					
成果		映画祭実行委員会の主体性を可能な限り引き出して、年間を通しての上映をやり切った。映画祭実行委員会とは、今後アーラとの協働についてどうするか根本の在り方について議論し、今後は、より主体的な参加を決めた。令和4年度は協力の形であったが、5年度は財団との両主催で作品選定と当日運営をすることとなった。活動の結果として、映画館のない可児において、映画を通したコミュニティ形成が促進されるように取り組むことが大切である。 上映回数を抑えたことで、結果的に予算よりも決算の赤字幅が減った。 地域包括支援センターとの協働は、新たな顧客獲得だけでなく、社会包摂型劇場としての役割も担うことができる等、一石二鳥の協働となるため、今後9月の世界アルツハイマー月間には何かしら協働した方がよい。					



事業名		アーラ映画祭 2022					
目的	・映画館が無い可児において映画祭を開催し、多様な人が鑑賞できる機会と環境を作り、映画を通した人の繋がりを支え、広げる。						
	・通常の映画館に行く事が困難な社会的弱者（聴覚障がい者）も一緒に映画を楽しむ機会を作る。						
	・他団体との協力・協賛等をすすめ、地域に根付いた映画祭づくりをすすめる。						
集客数	641人	席数	837	集客率	76.6%	会場	映像シアター
開催日時	令和4年11月5日（土）、6日（日）、13日（日）、14日（月） 各日①10時 ②14時 ③18時30分 11/6のみ③なし						
チケット	全席指定 900円 25歳以下 450円						
市民参加	アーラ映画祭実行委員会、保護司・更生保護女性の会						
事業内容	アーラ映画祭実行委員がミーティングを重ねて厳選した日本映画6作品を、4日間に渡って上映した。広報用のコメント作成や当日の運営（受付や前説など）を行い、ゲストとして監督を招いたトークショーも実施し、ただ単に映画鑑賞で終わらないお客さんと実行委員の交流の場を作ることができた。バリアフリー字幕や日本語字幕、日本語標準語字幕を取り入れ。様々な環境の人が映画を鑑賞する機会を設けた。また、映画祭実行委員のインスタグラムアカウントを作るなど、若年層へのアプローチに取り組んだ。						
	上映作品（上映開始時間①10時 ②14時 ③18時30分）						
	（※1）はバリアフリー日本語字幕付き上映、（※2）は日本語字幕付き上映、（※3）は日本語標準語字幕付き上映、						
	11月5日（土）①③「太陽の子（※1）」						
	11月5日（土）②、6日（日）①「浜の朝日の嘘つきどもと」（5日は上映後にゲストトーク：タナダユキ監督）						
	11月6日（日）②「そして、バトンは渡された（※2）」						
	11月13日（日）①③「いとみち（※3）」（①上映後にゲストトーク：横浜聡子監督）						
	11月13日（日）②、14日（月）②「すばらしき世界」						
	11月14日（月）①③「梅切らぬバカ（※1）」						
経費状況	収入	568,350円	支出	1,232,553円	収益率	46.1%	
アンケート結果	・今年の映画祭では2人の監督さんと呼んで司会の方も、絶妙な司会っぷりでした。映画を観ているだけではわからない話が聞けました。						
	・雑談会も2回目はお客さんが多く残ってくださって、保護士さんや民生委員さんの貴重なお話しが興味深かったです。ただ1回目の方が畳の部屋でまったりできたし、温かくてよかったなーとも思います。						
成果	入場者については目標をクリアでき、映画の鑑賞機会の提供に寄与できた。						
	映画祭活動での実行委員主体の参加を促し、映画雑談会、もちろんシネマ、映画祭マガジンの発行、InstagramでのPR等、新しい取り組みを実施することができた。こうするにあたり、映画祭開催前に、映画祭実行委員会とアーラとで、映画祭はどうあるべきなのかしっかり話し合ったことがとても効果的であった。継続的な事業については、あまり考えず前例踏襲になりがちだが、時折立ち止まり、根本のところを見直すことも必要だと感じた。						
	映画雑談会について、刑務所出所後の人生を描いた『すばらしき世界』を上映後に、お客さんに保護司と更生保護女性の会の方がいらしたので、急遽、雑談会において受刑者の出所後話などを聞く会を設けるなどした。今後の雑談会の可能性を開いたと感じた。						



事業名	石川さゆりコンサート 2022			
目的	可見市民が求めるミュージシャンを呼び、可見でポップスコンサートを楽しむ機会を提供する。			
集客数	1,330 人	席数	1,637	集客率 81.2% 会場 主劇場
開催日時	令和4年7月29日（金）14時開演、18時開演			
チケット	全席指定 7,000 円			
出演者	石川さゆり			
市民参加	フロントスタッフ（ala クルーズ）			
事業内容	【プログラム】 火事と喧嘩は江戸の華／津軽海峡冬景色／浜唄／北の女房／ウイスキーが、お好きでしょ／人間模様／暗夜の心中立て／名うての泥棒猫／獨り酒／残雪／火の国へ／だいこんの花・裏町夫婦草・大阪のおんな・夫婦善哉（メドレー）／波止場しぐれ／ああ… あんた川／風の盆恋歌／男の祭り酒／恋しゅうて／天城越え 【アンコール】 しあわせに・なりたいね			
経費状況	収入	14,650,200 円	支出	10,527,049 円 収益率 139.2%
アンケート結果	・素敵な会場でコンサートが楽しめて幸せでした。久しぶりに良い時を過ごせました。又この会場でさゆりさんのコンサートを楽しみたいです。 ・圧巻のステージ、さゆりさんのMCも楽しく、超早着替えが3回もあり、大満足！と友人と話して帰ってきました。 ・石川さゆりさんもコロナ感染から回復されて無事にコンサートが開催されて嬉しかったです。			
成果	アンケートの結果では各公演とも9割近くの人が「大変良い・良い」と回答しており、高い満足度を得られた公演だった。			
				

事業名	BEGIN「ビギンの一五一会なコンサート」			
目的	可児市民が求めるミュージシャンを呼び、可児でポップスコンサートを楽しむ機会を提供する。			
集客数	967人	席数	967	集客率 100.0% 会場 主劇場
開催日時	令和4年10月2日（日）14時開演			
チケット	全席指定 一般 6,000円 25歳以下 3,000円			
出演者	BEGIN、ヤファイン・アッチャーズ・バンド			
市民参加	フロントスタッフ（alaクルーズ）			
事業内容	今年でデビュー32周年を迎えたBEGINが、9年振りにアーラに登場し、誰もが知る名曲から最新曲まで、心があたたかくなるステージを届けた。 【プログラム】 涙そうそう / パナマ帽をかぶって / ホクレア / Blowin' In The Wind / およげたいやきくん / 島人ぬ宝 / （ヤファイン・アッチャーズ・バンド） デイドリームビリーバー / ラブソングじゃ退屈 / 蚊族 / 生活の柄 海の声 / アサイーボウル / 砂糖てんぷら / 国道508号線 / ボトル二本とチョコレート / 竹富島で会いましょう / オジー自慢のオリオンビール / 三線の花 【アンコール】 マルシャメドレー（バルーン / 笑顔のまんま / ソウセイ（ケンジロウ RAP）） / Stand By Me（ケンジロウ&ゆうま一五一会）			
経費状況	収入 5,424,000円	支出 5,134,861円	収益率 105.6%	
アンケート結果	・とても楽しいコンサートでした。音楽とはこんなにも心を温かくするものと、強く感じました。 ・感染対策もしっかりできていて安心して参加できました。駐車場も無料で良かったです。 ・とても良かった。可児へ来てみたかったので思い切って来てよかったです。ビギンのコンサートは数えきれないくらい行っているんですが、今日もとってもあたたかくなって、アットホームで、もちろん歌も本当にいいです。また明日からも頑張れます。車の中で思い出しながら6時間かけて帰ります。ありがとう。			
成果	市とヤイリギターの協力で、前日の「一五一会世界大会」と共通ギャラリーやホワイエにBEGIN、石垣島×ヤイリギター、可児市の展示を行い、全国から集まるお客様に対して可児市のPRを行った。車いす席も含めて、早い段階で満席となった。駐車場の混雑が心配されたが、特に大きな混乱は無かった。			



3 まち元気・市民交流促進事業 事業報告

事業名	エイブル・アート展 —アートの奥行き—			
目的	選りすぐりのエイブル・アート作家と可児市内支援学級児童による作品展により、アートの楽しさを伝えと共に、障がい者への理解が深まる催しとする。			
集客数	656人	席数	—	集客率 — 会場 美術ロフト
開催日時	令和4年7月16日（土）～24日（日）10時～19時 ※休館日除く			
チケット	入場無料			
事業内容	14年目の開催となった。 今年度は前年度より早く広報宣伝活動を実施した。また、単なる鑑賞の提供に留まらず、関連企画としてTASC岐阜との連携事業により十人十色のアートの楽しみを体験する「みんなの対話型鑑賞会」や出展作家の伊藤樹里さんによる公開製作を実施した。また、地元の作品として可児市内の特別支援学級の作品を12点展示した 【関連企画】 みんなの対話型鑑賞会 7/17（日）11時～12時、13時～14時 いろいろなみんなのアート展 会場入り口にてエイブル・アートグッズを扱うミュージアムショップを営業した。			
経費状況	収入 683,929円	支出 1,053,847円	収益率 64.9%	
アンケート結果	・なんでも絵になることがわかりました。自由でよいですね。 ・独創的な作品を見せていただいてよい刺激になりました。ありがとうございます。 ・特別な感性を持った方の作品は見てると不思議な気持ちになります。違う世界にいるみたいだけど、同じ時間を共有している。いつも自分の心の中にあるモヤモヤを現実化してくれる時間でした。 ・どの作品も個性豊かで、見ていてとてもワクワクしたし楽しかったです！自然と笑顔にしてくれる作品ばかりでした。			
成果	今回は「アートの奥行き」とのテーマで、目には見えないものを写し出した抽象絵画や様々な素材を組み合わせた技法、日々の習慣が長年の時を経てアートに見える作品を紹介したことで、表現の幅広さや自由さ、可能性を提示することが出来た。また初めての試みとした「みんなの対話型鑑賞会」では8名の参加者と一緒にファシリテーターが作品の印象や感じ方、好みなどを聞きながら、同じ作品ではあるが、鑑賞者によって全く違う捉え方だったり、印象だったり、まさに十人十色の感性を参加者自身が体験し、アートの奥深さを提示することに奏功した。鑑賞者数は前回に比べて150人ほど増やすことが出来た。また、出品作家の公開製作では、普段見られない創作風景を直接市民に見てもらうことで、よりアートを身近に感じてもらう効果があった。			



事業名		シリーズ恋文 vol.12					
目的	恋人、夫、妻、母親などにむけて“普通の人々”が綴った心打つ手紙の朗読を通じて、人間同士の「絆」を多くの方に再認識して頂くことを目的とする。恋文という身近な題材を用い、また地元音楽家出演により演劇公演に馴染みのない方でも 共感しながら鑑賞できる内容とし、地域における演劇鑑賞者の基盤づくりに寄与するものとする。						
集客数	361人	席数	513	集客率	70.4%	会場	小劇場
開催日時	令和4年11月26日（土）、27日（日）共に14時開演						
チケット	全席指定 一般 4,000円 25歳以下 2,000円						
出演者	北村有起哉、山田真歩、黒木由香（ピアノ）						
市民参加	フロントスタッフ（alaクルーズ）						
事業内容	俳優2人と演出家を招き、5日間の可児市での滞在期間にアーラオリジナルの朗読公演作品をつくりあげた。短期の滞在制作であり、地方都市での知名度の高い俳優を起用したアーティスト・イン・レジデンス公演を実現した。台本は秋田県二ツ井町（現：能代市）にて平成16年まで行われていた「恋文コンテスト」で全国から集められた恋文を元に構成した。音楽は地元の音楽家である黒木由香によるピアノの生演奏。 藤井ごうを構成・演出に起用し、本シリーズ12作目として新たな視点での構成や演出を試みた。 公演後にはアフタートークを実施し、俳優、演出家が滞在中に体験したエピソードを提供することで、鑑賞者が町の魅力を再確認できる機会となった。						
経費状況	収入	2,515,507円	支出	3,363,943円	収益率	74.8%	
アンケート結果	・昨年に引き続き観劇しました。アフタートークでの北村さんと山田さんの、可児市に対する思いが、とても好意的で、凄く良かったし、同市民として嬉しく思いました。昨年の演者さんも良かったが今年も良かったです。アーラありがとう。 ・前のB列に席をとらせていただきました。演出もさることながら、有起哉さんや真歩さんの声にうっとりして、涙が流れてしまいました。ありがとうございました。						
成果	今回は例年のシリーズ恋文の出演者よりも比較的若い俳優が出演し、30～40代の若い客層にアプローチできた。手紙という様々な人々の心の思いや温かさを俳優の朗読により直接届けたことで、観客の心により一層染み入る舞台となり、アンケートでの満足度「大変良い、良い」という回答が94%となった。また、終演後のアフタートークでは出演者による恋文にまつわるエピソードなど普段は聞けないプライベートな話をしたことで、作品理解を深めつつ、テレビなどで見る俳優を身近に感じる機会を提供することが出来た。						

事業名	ala Collection シリーズ vol.13 「百日紅、午後四時」 可児公演			
目的	アーティスト・イン・レジデンスによる作品制作を実施することで、東京一極集中の演劇創作環境に一石を投じる。「地域での制作」という特性を生かし、市民サポーターを募り、広報宣伝活動やキャスト・スタッフの日常生活のサポートなど、様々な形で作品に関わってもらう。その中で演劇を身近に感じ、一緒に創作しているという市民の実感を広げながら、より多くの市民に質の高い演劇作品を提供する。			
集客数	1,240 人	席数	1,450	集客率 85.5% 会場 小劇場
開催日時	令和 4 年 9 月 26 日（月）～10 月 2 日（日）			
チケット	全席指定 一般 4,000 円 25 歳以下 2,000 円			
出演者	市毛良枝、陰山泰、福本伸一、朝倉伸二、岩橋道子、弘中麻紀、瓜生和成、平体まひろ			
市民参加	フロントスタッフ（ala クルーズ）			
事業内容	アーラが企画制作し、全国に発信する演劇公演、ala Collection シリーズの 13 作目となる。人生百年時代。二年前に交通事故で夫を亡くした主人公が、66 歳の現在を 24 時間の中の午後四時あたりと考えて決めた思い切った行動を巡り、戸惑う弟や妹。呆れる息子。そして思いがけず顔を覗かせた亡き夫の秘密など。コロナ禍以前の、濃密な人間同士のコミュニケーションを愛おしく、笑いたっぷりに描きながら、「人生百年をどう生きる」を問いかける、骨太な大人のホームドラマを制作した。			
経費状況	収入 26,683,243 円	支出 27,956,441 円	収益率 95.4%	
アンケート結果	・今回、初めてとても魅力的な作品を扱っていることを知りました。これからも期待しています。 ・アーラの芝居作りの良さを「トーク」を通じて実感できました。 ・久々に舞台を見て良かったです。アフタートークでみなさんの可児愛を感じました。うれしかったです。 ・大変感動しました。今までの中で一番の演劇でした。ありがとう。 ・アーティスト・イン・レジデンスでの演劇制作、楽しみにしています。ぜひ継続してください。いつ来ても、アーラは地域に根付いている温かさを感じます。			
成果	「ala Collection」初の書き下ろし新作であったが、集客はツアー各地を含め、想定以上となった。未だコロナ禍が収まらない状況ではあるが、適切な対応を行うことにより、サポーターの参加再開など行動の自由度は上がってきた。また、コロナ禍を経て浸透の早まったデジタルツールの活用（LINE、Zoom など）について、公式 LINE アカウント運用の開始、オンライン企画の実施などにより、今後の発展の足掛かりとなるものを生み出すことができた。 また、市民サポーターの稽古場支援を再開できたことにより、出演者の滞在の充実度が上がり、可児への愛着が増し、創作への好影響のみならず、SNS やアフタートークなどを通じて、「可児」や「可児での滞在創作」の積極的なアピールに繋がっていった。			



事業名	ala Collection シリーズ vol.13 「百日紅、午後四時」 東京公演			
目的	全国的にも珍しいアーティスト・イン・レジデンスによる可児市での作品作りを実施することで、東京一極集中の演劇創作環境に一石を投じる。東京公演を実施し、読売演劇大賞など日本演劇界からの評価を受けることで、本シリーズのブランディング効果を高める。可児市から全国に向けて質の高い演劇作品を発信する ala Collection シリーズの第13弾。			
集客数	961人	席数	1,036	集客率 92.8% 会場 吉祥寺シアター
開催日時	令和4年10月20日（木）～27日（木）			
チケット	全席指定 一般 5,000円 25歳以下 2,500円			
出演者	市毛良枝、陰山泰、福本伸一、朝倉伸二、岩橋道子、弘中麻紀、瓜生和成、平体まひろ			
市民参加	-			
事業内容	アーラが企画制作し全国の発信する演劇プロジェクトの東京公演として、可児市で制作した「百日紅、午後四時」を東京で公演し、首都圏に発信した。 東京公演は可児市のシティプロモーションと位置づけており、終演後に可児の花であるバラをお客様に一輪ずつプレゼントすることで、可児市および当シリーズのブランディング効果を高める効果を図った。			
経費状況	収入 4,058,500円	支出 9,427,741円	収益率 43.0%	
アンケート結果	・自分も60代前半で、同様な生活環境であったことでより一層物語の内容が（結婚・老後・日々の生活・兄弟等様々なテーマが）切実かつおもしろくうったえかけてきた。そして、考えさせられたと共に、午後4時の発想が印象に残った。 ・ほんとうに素敵でした。涙止まりません。ありがとうございました。瓜生さん、本当に素敵な作品です。 ・ほっこりするよいお芝居でした。いつにも増して可児市、素敵な舞台をみせていただき嬉しいです。ありがとうございました。またバラも。 ・人生100年、これからの生き方の参考になりました。皆様の演技にジーンとききました。特に息子役に自分の子を重ねてしまい、涙がでました。感動ありがとうございました。			
成果	発売からしばらくは伸びなかったものの、公演3週間ほど前から徐々に売れ、結果的にはほぼ完売の盛況となった。出演者の積極的な手売りのほか、市毛良枝の7年ぶりの舞台出演という事でメディアの注目度も高く、例年よりメディア露出が多くなったことも一因と考えられる。恒例となった終演後のバラプレゼントに加え、カーテンコールのあいさつで、出演者自らが可児滞在製作の素晴らしさを語ってくれたことも、シティプロモーションとして効果的だったと思われる。			

事業名	ala Collection シリーズ vol.13 「百日紅、午後四時」 地方公演			
目的	全国的にも珍しいアーティスト・イン・レジデンスによる可児市での作品作りを実施することで、東京一極集中の演劇創作環境に一石を投じる。可児市から全国に向けて質の高い演劇作品を発信する ala Collection シリーズの第 13 弾。ツアー公演を実施することで、公演収益を上げるとともに、当センターの全国的なブランディング効果を高める。			
集客数	2,049 人	席数	2,291	集客率 89.4% 会場 下記参照
開催日時	令和 4 年 10 月 8 日（土）～ 10 月 30 日（日）			
チケット	大府公演 3,500 円、豊田公演 3,000 円、長岡公演 3,000 円、能登公演 6,500 円			
出演者	市毛良枝、陰山泰、福本伸一、朝倉伸二、岩橋道子、弘中麻紀、瓜生和成、平体まひろ			
市民参加	－			
事業内容	アーラが企画制作し、全国に発信する演劇プロジェクトのツアー公演。可児市で制作した作品を全国に発信し、可児市とアーラのブランド力を高めた。 10 月 8 日（土）おおぶ文化交流の杜 allobu 10 月 9 日（日）豊田市民文化会館 10 月 16 日（日）長岡リリックホール 10 月 29 日（土）、30 日（日）能登演劇堂			
経費状況	収入 18,794,982 円	支出 12,023,195 円	収益率 156.3%	
成果	利用者拡大施策として、コロナ禍で急速に需要の高まるデジタルメディアを用いた宣伝広報力の強化を、特にデジタルメディアによる高齢者層へのアクセスを拡大するため、高齢者にも既に馴染みのある LINE アプリを用いて広報宣伝ツールにより公演情報など情報の発信を行った。また、未だコロナ禍ではあったが、出演俳優との本読み会（オンライン）、出演俳優による朗読会、バックステージツアーなど、各地で積極的に観客との交流企画を行った。ツアー各劇場との連携を密接に行い、ウェブサイトおよび LINE での情報発信・宣伝を共有していくことで、劇場同士の連携強化、ツアー全体での集客増に結び付けることができた。また、他劇場との発展的な人材交流を行える関係性を築くことができた。			

事業名		歌舞伎とおしゃべりの会					
目的		難解だと感じられがちな歌舞伎や日本文化に気軽に触れてもらえる機会を提供する。またバスツアーや参加型の講座を行うことで参加者同士のコミュニケーションを図り、地域文化の活性化につなげる。					
集客数		382人	席数	520	集客率 73.5%	会場	映像シアター他
開催日時		令和4年4月24日（日）、6月11日（土）、8月6日（土） 令和5年2月18日（土）、3月18日（土）					
チケット		講座：1,000円／回					
講師		下記事業内容参照					
市民参加		受付、運営補助（可児歌舞伎）					
事業内容		歌舞伎を様々な角度から学ぶ講座。講師とゲストによる、多様な講座（全5回）を開催。 ■4月24日（日）「中村橋吾のひとり歌舞伎⑤ 番町皿屋敷の魅力」講師：中村橋吾（歌舞伎役者）会場：美術ロフト ■6月11日（土）「ディープに歌舞伎入門⑥基礎編 歌舞伎の歴史をかけぬけよう！」講師：木ノ下裕一（木ノ下歌舞伎主宰）会場：映像シアター ■8月6日（土）「ディープに歌舞伎入門⑦演目編 「勸進帳」能と歌舞伎のつながりを読む」講師：木ノ下裕一（木ノ下歌舞伎主宰）会場：映像シアター ■2月18日（土）「松井誠の華麗なる歌舞伎ワールド」講師：葛西聖司、ゲスト：松井誠（俳優）会場：小劇場 ■3月18日（土）「芝居の笛 ～笛の魅力・黒御簾の音～藤舎理生の多彩な技」講師：葛西聖司、ゲスト：藤舎理生（邦楽囃子笛方）会場：映像シアター					
経費状況		収入	830,928円	支出	962,752円	収益率	86.3%
アンケート結果		・とてもわかりやすく、聞きどころ、見どころ、満載の幸せな時間でした。ありがとうございました。（「中村橋吾のひとり歌舞伎⑤」） ・歌舞伎をただ演劇として見るだけでなく、当時の人々の時代の気風を知る楽しさも教えていただきました。先生の深い知識からくる話には今回も感銘いたしました。（「ディープに歌舞伎入門⑥」） ・演目の内容は説明を聞かないとわからないものだと思います。見ているだけでは、理解できません。説明もらえてよかったです。（「ディープに歌舞伎入門⑦」） ・葛西さんの話しの進め方がとてもこころよくすばらしいと思いました。話の間合いももちろんですが、松井誠さんのすばらしさをぞんぶんに引き出してくれました。踊りもすばらしかったです。（「松井誠の華麗なる歌舞伎ワールド」）					
成果		2人以上の講師を起用することにより、様々な側面から学ぶことができる内容のバランスを考えたプログラムとし、講師・ゲストの専門分野を活かした参加者の知的好奇心を高めるユニークな講座を開催した。歌舞伎と隣接するジャンルからのゲストを迎え、これまでと違った切り口から歌舞伎の魅力を伝えた。「歌舞伎とおしゃべりの会」というネーミングの通り、参加者と講師の交流を大切に考え、講座の際は必ず質疑応答の時間を設けている。各回ごとに気軽に申し込みできるチケット制で、新規の方や若い世代も参加しやすい形を重視している。歌舞伎本家と違ったジャンルから大衆演劇の松井誠、邦楽奏者の藤舎理生をゲストに迎え、違った方向から歌舞伎の魅力を伝えるとともに、新規観客の獲得に成功した。					

事業名		森山威男ジャズナイト 2022					
目的	開館以来、恒例の森山威男を中心としたトッププレイヤーによるエネルギッシュで迫力ある生演奏により、一般的なジャズファンに捉われずに幅広い観客層に対して魅力あるコンサートを行う。質の高い独自企画としてアーラのブランディングを担う事業とする。						
集客数	505人	席数	920	集客率	54.9%	会場	主劇場
開催日時	令和4年9月17日（土）18時30分開演						
チケット	全席指定 一般 5,000円 25歳以下 2,500円						
出演者	森山威男（ds）、渡辺ファイアー（as）、中山拓海（as）、川島哲郎（ts）、中路英明（tb）、魚返明未（p）、富樫マコト（b）、相川瞳（per）						
市民参加	フロントスタッフ（alaクルーズ）						
事業内容	可見市在住のドラマー・森山威男を中心としたトッププレイヤーによる恒例のジャズコンサートを開催した。会場は暑い演奏に酔いしれた。メンバーが大幅に入れ替わり、若返りが図られた。選曲もこれまでとは異なる曲を取り上げ、演奏者による語りを加えるなど、実験的な試みが行われた。 【プログラム】 Song of Soul／渡良瀬／Sunrise （アンコール） Good Bye						
経費状況	収入	3,677,692円	支出	4,327,515円	収益率	85.0%	
アンケート結果	・前回もすばらしかったですが、今回はライブハウスにいるような感じで、とても一体感があり、フレッシュな感じの演出もすばらしく楽しかったです。 ・今回のコンサートのメンバーがかなり代わっていて新鮮でした。特にベースの富樫君が新鮮で良かったです。 ・JAZZを生で鑑賞するのは初めてで、迫力が凄くてとても感動しました。また機会があれば鑑賞したいです。						
成果	今回、メンバーが大幅に変更となったが、アンケートの集計結果では92%の人が「大変良い」「良い」と回答しており、音楽的にも新メンバーが加入したことや、これまでにない楽曲に挑戦したことで「ジャズナイト」の新たな可能性が見いだせたのは大きな成果だった。						

事業名	大形市民参加事業 「君といた夏～スタンドバイミー可児～」			
目的	地元可児を題材にした演劇作品を、子どもから大人まで一緒に創り上げることで地域の繋がりを強め、郷土愛を育み、演劇を通した新たなコミュニティ作りを図る。キャスト、スタッフを新たに進化した作品を上演することで地域全体に「わたしたちの町の物語」を浸透させ出演者だけでなく、来場者、そしてその関係者へと広がりも生み出す。			
集客数	1,474人	席数	1,624	集客率 90.8% 会場 主劇場
開催日時	令和5年3月4日（土）、5日（日）			
チケット	全席指定 1,000円			
出演者	公募により集まった市民キャスト92人			
市民参加	市民サポーター14人、フロントスタッフ（alaクルーズ）			
事業内容	昭和49年の可児を舞台に、子ども達が繰り広げる冒険物語を、ミュージカルに仕立てたオリジナル作品。平成23年度、26年度、29年度に続き4度目の上演。92人の市民が10月から稽古を重ね、つながりを強め、郷土愛を育んだ。公演当日は多くのお客様に来場いただき、稽古の成果を思う存分に出し切った出演者の晴れやかな姿が感動を呼び、大いに盛り上がった。 作・作詞：瀬戸口郁／作曲・音楽監督：上田 亨／演出：黒田百合 稽古：令和4年10月～令和5年3月 基本的に毎週土日 44回			
経費状況	収入 9,254,329円	支出 14,537,402円	収益率 63.7%	
アンケート結果	【出演者】 ・友達がたくさんできて、毎週末の稽古が楽しみになった。学校では1人になりがちだけど、居場所ができたので、今後も君といた夏を開催してほしい。 ・（親子で出演し）親子共々すごく楽しみ、充実した半年間でした。 【サポーター】 ・本当に参加できて良かったです。見に来てくれた方々にこんなにも感動を与えられる舞台に関わることができて幸せでした。（娘さんが出演） 【お客様】 ・自然に涙があふれ、温かい気持ちになりました。ずっと引き継ぎたい。 ・可児市の宝物の様な存在の作品だと思いました。			
成果	【当事業が、参加する市民にとって、1.サードプレイスとして義務や必要性に縛られず、自分らしく過ごせる場所であること。2.世代を越えた交流が育まれる場所であること。3.自分や他者の成長を共に喜び合い、切磋琢磨できる場所であること。4.年齢や性別などにとらわれず、互いに尊重し合える場所であること。】というミッションに対して、講師陣とも連携し、「何かあればスタッフに相談したらいいんだ」という空気を作ることができ、最後まで誰も挫折することなく、公演を終えることができた。その一体感は、お客様にも伝わったのではないかな。アールが掲げる『あらゆる層の市民が生きがいを持ち、安心して集うことができるもう一つの我が家のような存在として、文化芸術で生きる活力とコミュニティを創出し、＜誰ひとり孤立させない社会＞を目指す』を少しは達成できたと感じる。			



事業名		森山威男ドラム道場					
目的	日本を代表するジャズドラマー・森山威男によるドラム講座を開講することにより、初心者からプロを目指す方まで、ドラムという楽器だけでなく音楽に対する視野を広げる。地域に住むアーティストとの連携による独自の事業を展開することにより、当センターのブランディングに資する。						
集客数	道場生 延べ216人	席数	－	集客率	－	会場	音楽ロフト
開催日時	ドラム道場／通年　森山威男 DUO LIVE　7月18日（月・祝）						
受講料	【ドラム道場】 受講料　1回　3,000円／18才以下 1,500円 【森山威男×田中信正 DUO】　2,500円　25才以下 1,250円						
講師	森山威男						
出演者	森山威男 DUO LIVE：森山威男（ds）、田中信正（pf）						
事業内容	市内在住のドラマー・森山威男を講師に迎え、その高度な演奏技術を学ぶ講座をグループレッスンと個人レッスン形式で実施した。						
	【ドラム道場】　コロナ感染拡大防止のためドラム道場は昨年度に引き続き個人レッスンで行った。						
	【関連企画】 「森山威男 DUO LIVE」　7月18日（月・祝）　会場：小劇場						
	ライブでは開演前には出演者と道場生による非公開セッションも行い、6名がセッションに参加した。						
経費状況	収入	2,110,858円	支出	2,454,600円	収益率	86.0%	
アンケート結果	【森山威男×田中信正 DUO】						
	・毎回森山威男さんのパワーをいただき勇気をもらっています。人生まだまだ挑戦出来るのだと思い知らされる公演です。 ・45年近く森山さんのライブあちこちで鑑賞しましたが、こちらは初めて来ました。また来ます。森山さんは最高です。 ・素晴らしかったです。励みになりました。						
成果	昨年度に引き続きコロナ禍でのドラム道場となったが、年間を通して開講することができた。今年度は新たに2名が道場生として加わり、ドラム道場の活性化につながった。すでに長く受講している人もいて、技術的にも上達している様子がうかがわれた。道場生同士でも教え合うなど、ドラムを通じて交流の場にもなっていた。						
	道場ライブではライブの前に非公開セッションが行われた。プロの演奏家とセッションできる機会であり、日頃道場で学んできたことが実践でき、貴重な経験の場となった。						





事業名	新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによる オープン・シアター・コンサート			
目的	障がい者や乳幼児とその家族など、普段劇場に足を運ぶのが難しい人たちでも来やすいコンサートとし、多様な市民が一流の演奏を楽しめる機会を作る。特に障がい者は施設や学校等、特定の場所以外に出かけることが難しく、社会的に孤立しがちなため劇場が一つの居場所となり、また社会との接点の一つとなることで社会包摂機能を持つ地域劇場としての使命を果たす。			
集客数	272人	席数	519	集客率 52.4% 会場 主劇場
開催日時	令和4年6月24日（金） 13時30分開演			
チケット	全席指定 500円 前列のびのび鑑賞席は自由席 500円			
出演者	新日本フィルハーモニー交響楽団			
市民参加	フロントスタッフ（alaクルーズ）			
事業内容	障がい者や乳幼児を持つ家族など、普段劇場に足を運ぶのが難しい人たちでも来やすいクラシックコンサートを開催した。車いす席を増やしたり、寝ころんだまま鑑賞できる席をつくるなど会場のレイアウトを工夫し、ホールで音楽を楽しめる機会を提供した。 【プログラム】 クライスラー：愛の喜び モーツァルト：「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より第1楽章 アンダーソン：「ワルツィング・キャット」「シンコペーテッド・クロック」 「サンドペーパー・バレエ」 ヨーゼフ・シュトラウス：鍛冶屋のポルカ メンケン：映画「美女と野獣」よりメドレー チャイコフスキー：「弦楽セレナーデ」より第1楽章			
経費状況	収入 667,828円	支出 1,167,068円	収益率 57.2%	
アンケート結果	・音楽大好きな2才の娘がノリノリで大喜びでした！貴重な機会をありがとうございました。 ・平日の午前中にオープンコンサートはとても良い企画だと思いました。やはり本物の新日フィルのメンバーの演奏が聴けるのはすばらしいです。 ・小さい子供さんも静かに聞いて大変良かったです。子供にもあきさせない様工夫されていました。又、聞きたいと思いました。 ・子どもや障がい者、高齢者など幅広い客層が気軽に楽しめる企画でとても素晴らしいかったです。			
成果	オープン・シアター・コンサートの開催は3年ぶり、これまでは1日2公演だったが、今回は1日1公演のみとなった。例年と比べて入場者数は少なかったが、それでも8つの障がい者施設を含む272名が来場した。のびのび鑑賞席も31名のチケット購入があり、急遽カーペットエリアを増やすほどの人気だった。選曲もクラシックの名曲や映画音楽が中心で、アンダーソンの曲では寸劇も入るなど趣向を凝らした演出が好評だった。普段コンサートに来ることが難しい人でも気軽に来て新日本フィルの演奏を聴けるという点で、アーラにとって欠くことのできないコンサートであると思われた。			

事業名	ココロとカラダワークショップ (親子 de 仲間づくりワークショップ・ココロとカラダの健康ひろば)		
目的	乳幼児とその親、高齢者が孤立してしまうことを防ぐために、それぞれの仲間の輪を広げることを目的にコミュニケーションワークショップを継続的に実施する。		
集客数	①親子 de 仲間づくりワークショップ 43 組 93 人 (延べ 155 組 555 人) ②健康ひろば 34 人 (延べ 232 人)		会場 レセプション ホール 他
開催日時	令和 4 年 4 月 20 日 (水) ～ 12 月 14 日 (水) の指定水曜日		
参加料	参加料 1 回 300 円		
講師	新井英夫 (アシスタント: 板坂記代子、松岡恭子)、Ten seeds		
事業内容	乳幼児と親を対象にしたクラスと高齢者を対象にしたクラスでワークショップを開催した。コミュニケーションゲームやダンス、演劇表現の要素を取り入れながら、健康づくりや仲間づくりを促進した。		
経費状況	収入 1,127,430 円	支出 2,214,702 円	収益率 50.9%
アンケート結果	【親子 de 仲間づくり】 ・人がたくさんいる環境や、同じ月齢くらいの子と接する事でたくさん動き回るようになりました！刺激を受けてるせいか、帰ったら毎回熟睡しています。私自身もお出掛けすることで気分転換になったので良かったです。 ・天候に左右されず、子どもの五感に訴え、全力で遊べる素晴らしいワークショップを有難うございました。 ・子どもが動き回ってじっとしていなくても泣いていても大丈夫な雰囲気が、とても有難かったです。 【健康ひろば】 ・身体を動かす事のバラエティが多く、色々な動きが自然にできるのが良い。同時に頭もいっぱい使うのでボケ防止にとっても役立つ！！ ・最近、家の近くでは誰とも話をしていないので、アールで皆さんに会えると大変うれしいです。 ・毎回楽しくて、心が晴れやかになります。		
成果	【親子 de 仲間づくり】 過去 2 年間、対面でのワークショップができず、今回も大人はマスク着用での開催となった。感染症の影響もあってか、前期日程では参加者数が定員に達しなかったが、少人数であるため参加者同士がより濃密に交流することができた。後期日程では定員を超える参加希望があり、講師相談のうえ希望者全員を受け入れた。保護者からは人と交流することで親子共々リフレッシュできる時間となったとの声を頂いた。 【健康ひろば】 過去 2 年間の対面でのワークショップが出来なかった分、参加された方々からは人と接することの楽しさや安心感、大切さについて声が上がリ、後期日程では新規参加者も含め参加者が増加した。		



事業名	児童・生徒のためのココロとカラダワークショップ スマイリングワークショップ			
目的	市内小中学校へ通う子どもたちが、相手に自分を伝え、相手を受け入れることができるコミュニケーション能力を育むために実施する。			
集客数	児童生徒 854人 スマイリング 57人	席数	－	集客率 ー 会場
開催日	令和4年4月21日（木）～12月15日（木）		児童生徒 スマイリング	全30回 全9回
講師	新井英夫（体奏家）、Ten seeds			
事業内容	コミュニケーションゲームやダンス、演劇表現の要素を取り入れながら、子ども達のコミュニケーション能力を伸ばし、自分を表現する、相手を受け入れることのできる心身づくりをする。 ①児童・生徒のためのココロとカラダワークショップ 市内小中学校の児童・生徒を対象に行うクラス単位のコミュニケーションワークショップ。 ②スマイリングワークショップ 不登校児童・生徒が通うスマイリングルームでのコミュニケーションワークショップ。 コロナウイルス感染症等の予防策として、全てのワークショップを体育館での実施とした。また、全ての学校と事前に念入りの打ち合わせを行い、コロナウイルス感染症対策などについての学校の要望を細かい部分まで講師と共有した。			
経費状況	収入	2,464,460 円	支出	2,093,540 円 収益率 117.7%
アンケート結果	・いつもと違う遊び、ゲームができてとても楽しかったです。同じゲームでも、いろいろなお題で楽しかったし、みんなのことが知れました。「そうなんだ」「同じだ」と、ちがう意見や、同じ意見の人いろいろな人がいて楽しかったです。（4年生児童） ・ジェスチャーゲームが、すごくお題の表現の仕方がそれぞれで個性が出ておもしろかった！あまり話したことがない子ともたくさん話せた！先生とも友だちのように楽しめてうれしかった 😊（4年生児童）			
成果	コロナウイルス感染症等の影響もあり、クラスの仲間と密なコミュニケーション（言葉や身体を使った）を中々とることのできない現状もあったせい、ワークショップの過程で非常に開放的になる児童の姿を多く見ることができた。担任の先生の感想でも、「授業では見られない生徒たちののびのび、生き生きとした姿を見ることができた」という声があった。また、自己の解放をする中で、仲間の意見を聞いたり、仲間と協力したりしながら「みんなで楽しむ」ことを自然に行う児童が多くいた。特に、外国籍の児童が多く在籍する小学校では、ルールや講師の指示がわからない仲間を助ける姿などがあり、日常の助け合いの姿がワークショップにいかされていると感じた。コロナ禍で人との密な接触が禁止されている時だからこそ、ワークショップのなかで身体で自分を表現したり、仲間の良いところを見つけたりすることは、より良い仲間関係の形成や自己肯定感の向上に、より貢献するのではないかと強く感じた。			

事業名	多文化共生プロジェクト 2022「BORDER」		
目的	全国的にも外国人集住都市となっている可児市には、外国にルーツがあり多様な文化的背景を持つ人達が人口の約8%在住しています。彼らは文化の違いによる様々な課題を抱えて生活しています。本プロジェクトは、海外にルーツがあり多様な文化的背景を持つ人達と日本人住民が文化芸術を（演劇表現を使って）介して語らいあい交流することで、限定されたコミュニティの中で生活をする彼らが地域の一員となる機会のほか、文化の違い（特に信仰、食、時間概念）を双方が知る機会となり互いを尊重しあうことで豊かなまちづくりにつながることを目的としています。また、交流に留まることなく、一般の市民に成果を発表することで、参加者は自信や自己肯定感を高めることとなり、観客は異文化を知るきっかけにつながると考えております。		
集客数	参加者 35 人 観客 91 人	席数	集客率
開催日時	【稽古】 令和4年6月～8月 【公演】 令和4年8月14日（日）13時30分、16時開演 2回公演 入場無料 【交流イベント】 令和5年1月29日（日）、2月11日（土）10時-12時		
出演者	日本、外国籍の市民 35 人		
事業内容	「BORDER（境界線）」をテーマに、演出家が参加者延べ35人にインタビューをおこない、台本を作成した。ブラジル、フィリピン、トルコ、ボリビア、日本にルーツを持つ16人が演劇に出演した。終演後には出演者らによるアフタートークを実施した。関連企画として、2月と3月に交流イベントも実施した。 【公演】 脚本・演出：鹿目由紀／演出補助：カズ祥／アドバイザー：住吉エリオ、山田久子 【交流イベント】 ①もちつき大会 in 土田（参加協力） 令和5年1月29日（日） ②「違い」を感じるワークショップ&交流会 in 土田地区センター（主催） 令和5年2月11日（土）10時-12時 会場：可児市土田地区センター 協力：NPO 法人可児市国際交流協会、可児市土田自治連合会		
経費状況	収入 560,055 円	支出 1,191,058 円	収益率 47.0%
アンケート結果	・とにかく圧倒されました！なぜかわからないけど、涙が止まりませんでした。でも、途中から「ボーダー」という言葉が、「いいんだよ」という優しい言葉に聞こえてきた瞬間がありました。あえて作らないといけない、ボーダーもあるんだということが、一番の気づきでした。ありがとうございます。 ・ボーダーは必要で、それを理解し、共有していくことが大事だと言っていることに共感しました。		
成果	多文化共生社会への文化面からの働きかけは、外国籍市民の割合が増えている点からも年々可児市地域でのニーズが強まっているが、参加者の経済状況等を考慮すると参加費や出演料の徴収が難しい事業であるため、助成金が不可欠である。 当プロジェクトをきっかけに、日本人と外国籍市民との新しいつながりが生まれている。また、様々な文化が交じり合う演劇作品自体の豊かさが、観客からは特に評価されており、演劇を通して普段は知ることが出来ない在日外国籍の方々の様々な背景を物語として伝えていくことで、多様な社会の豊かさや理解を深める効果が見受けられた。 また、土田地区センターへアウトリーチを行ったことにより、より多様な人へのアプローチをすることができた。		



事業名		紙芝居一座支援					
目的	平成 27 年度に文学座朗読ワークショップに参加した市民で構成するアーラ紙芝居一座を支援し、市民の文化芸術活動の促進を図る。子どもを主な対象とした紙芝居公演を実施し、将来の鑑賞者育成を図る。						
集客数	参加者 12 人 観客 62 人	席数	－	集客率	－	会場	下記参照
開催日時	【稽古】 令和 4 年 12 月 17 日（土） 令和 5 年 1 月 7 日（土）、14 日（土）、20 日（金）、3 月 19 日（日）、25 日（土） 【公演】 令和 5 年 1 月 21 日（土）、3 月 26 日（日）						
出演者	アーラ紙芝居一座 12 人						
市民参加	アーラ紙芝居一座 12 人						
事業内容	文学座の演出家を招いたワークショップにより結成された市民で構成する紙芝居一座の活動を支援し、子どもを対象にした公演制作のアドバイスをを行った。 年間を通して紙芝居一座を支援する。 市内施設でアウトリーチ公演を実施した。 【演目】「おおきなかぶ」「ももたろう」 【公演】 令和 5 年 1 月 21 日（土）10 時 30 分開演 可児市子育て健康プラザ・マーノ 【演目】「長ぐつをはいたネコ」 【公演】 令和 5 年 3 月 26 日（日）11 時 20 分開演 可児市文化創造センター・G 階共有スペース						
経費状況	収入	29,781 円	支出	54,481 円	収益率	54.7%	
アンケート結果	参加メンバーの感想：「子ども達が喜ぶ姿が印象的でした。」「とても集中して子どもたちが観てくれたので、良かったです。」「紙芝居カフェという形式でテーブルや椅子など親子連れの家族がとてもリラックスできるような空間で公演できたことは、今後様々な企画でも実施できそうで、いろんな可能性が広がった機会でした。」 鑑賞者の声：「普通の紙芝居じゃなくて、いろんなものが飛び出してきて面白かったです。」「おおきなかぶは、いろんな人や動物が出てきてどんどん長くなっていくところが面白かったです。」						
成果	コロナ禍で稽古や公演の機会が少なくなったが、可児市子育て健康プラザマーノやアーラの共有スペースを利用して、目標の 2 回公演を実施することができた。また、3 月公演では、キネマキッズ「長ぐつをはいたネコ」と連動させて、新作紙芝居「長ぐつをはいたネコ」と映画と同タイトルの作品を創作し、映画とはまた違った作品の楽しみ方を提供することが出来た。そして、紙芝居をよりオシャレでカジュアルに楽しむ空間づくりとして、新規に簡易で持ち運びが便利でシンプルな組み立て式のテーブルと椅子を購入し、紙芝居カフェという形式スタイルの場を提供することができた。このカフェ形式のスタイルは紙芝居以外でも様々な市民との交流企画として幅広い活用が期待できる。市民が活動の中心の為、経費的な支出は殆どかからない状態で、子どもたちに作品を提供できることも大きな成果と言える。また公演だけでなく子どもたちの能力を引き出す体験ワークショップなどの展開も今後は期待できる。						



事業名		アーラ・イルミネーション					
目的	イルミネーション展示を行うことで、市民がその家族や友人たちと冬の思い出を作る機会を創出する。						
参加者数	点灯式参加 延べ78人	席数	－	集客率	－	会場	ロビー
開催日時	令和4年12月10日（土）～令和5年1月16日（月）※休館日除く						
参加者	点灯式に家族や友人、音楽団体など						
市民参加	イルミネーション製作等（alaクルーズ）						
事業内容	国内の電力ひっ迫を鑑みて、水と緑の広場でのイルミネーションは開催中止となり、代替企画として、NPO 法人 ala クルーズとアーラまち元気部が協力して製作した電飾作品「明るい未来（あす）へ」をアーラ館内小劇場前のスペースに展示した。 【点灯式】※電飾作品の点灯 令和4年12月10日（土）～26日（月）、令和5年1月5日（木）～16日（月） 12月は17時30分、1月は18時 期間中は毎日1組限定の点灯式を行い、職員も一緒にカウントダウンやゲームをするなど、家族や友人との思い出づくりを演出した。 参加者がイルミネーションの点灯スイッチを押した後、イルミネーションを背景に撮影した写真でカードを作成してお渡しした。						
経費状況	収入	0円	支出	987,911円	収益率	0.0%	
アンケート結果	・毎年参加しているので、今年も参加出来てよかったという常連の方の声が多くあった。 ・館内の展示でも綺麗だが、やはり大規模な外の装飾を見たかった。						
成果	国内電力のひっ迫によりアーラ・イルミネーションが規模縮小、期間短縮となってしまったが、市民が作り上げた作品を多くの方にみてもらう機会を確保できた。アーラまち元気部の中高生が製作に関わり、その様子を展示したことも、市民の活動を広めるよい機会となった。						



事業名	劇場に関わる人のためのアーツマーケティング・ゼミ 「あーとま塾2022」			
目的	可見市文化創造センター ala の鑑賞者開発の取り組みや、地域貢献及び社会的包摂に関する考え方と具体例を題材に劇場関係者と意見交換し、社会機関としての劇場運営について学び合うことを目的とする。今年度は次のフェーズに向けてアーラが取り組んできた「社会包摂型劇場経営」の運営モデルを共有・体系化する総括の一年とする。			
参加者数	参加者 136人	席数	－	集客率 ー 会場 レセプションホール
開催日時	令和4年6月16日（木）、17日（金） 9月15日（木）、16日（金） 12月22日（木）、23日（金）			
ゲスト	講師：衛紀生（ala シニアアドバイザー兼まち元気そうだん室長）／田代洋久（北九州市立大学法学部政策科学科教授）／堀田聰子（慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授）／藤岡聡子（「ほっちのロッヂ」共同代表、株式会社 R e D o 代表取締役）／湯浅誠（社会活動家、東京大学先端科学技術研究センター特任教授、全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長）／落合千華（慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員）			
事業内容	Step1「文化政策」6月16日（木）・17日（金）『今後求められるアーツカウンシル機能と戦略的対応について』 塾長：衛紀生／ゲスト：田代洋久／ala：半田将仁 Step2「社会包摂」9月15日（木）・16日（金）『文化芸術を活かした「社会的処方箋活動」の応用と実践』 塾長：衛紀生／ゲスト：田代洋久、堀田聰子、藤岡聡子／ala：松浦正和 Step3「マーケティング」12月22日（木）・23日（金）『地域における社会活動人材の育成と活動支援のしくみづくり』 塾長：衛紀生／ゲスト：湯浅誠／ala：栗田康弘 各回の2日目にグループワークを実施した。 グループワーク・ファシリテーター：落合千華 令和3年度から引き続き総括テーマを『社会的共通資本としての劇場文化』とし、「文化政策」「社会包摂」「マーケティング」の観点を各回の個別テーマとして、各界の第一線で活躍する実践家や学術研究者を招いて、文化芸術の領域に留まらずに学びの機会を提供すると共に、アーラの実践についても、毎回当財団職員が事例報告を行った。また、各回2日目に実施したグループワークを通して、四つのプログラムのロジックモデルを構築した。			
経費状況	収入	2,901,196 円	支出	2,690,323 円 収益率 107.8%
アンケート結果	「今年度の研修を通じて、現場・社会という切り口に政治への参画の仕方という観点の重要性が見えてきた」「人に伝えるための言葉を持つことの重要性を見つめ直せた」など、「対話力」の重要性を再発見したという受講者の声が多く聞かれた。一方で、「未だ＜文化芸術＝余暇活動＞という行政担当者の認識は組織に根強い」「課題解決実践者と制作者の目的共有をどのように推進することが可能か」など、取り組みの難しさを感じている受講者もやはり一定数見られた。			
成果	昨年度に引き続き、対面かオンライン視聴かを選択することになった結果として、これまでのセッションよりも幅広い受講者に参加してもらうことができ、「コレクティブ・インパクト」の仮想モデルをお互いがイメージする上で、大変意義のあることであった。同時に、配信ツールの活用により、あーとま塾のOBなどが、各地にしながら「あーとま塾」が提供する新しい知見を更新できることは、理念を共有するメンバーとの関係の持続可能性を高め、同時に新たな受講者への積極的な門戸開放にもつながった。			



事業名		アーラ みんなのピアノ プロジェクト		
目的	「ピアノを弾きたい」という夢や希望を心に抱きながら、家庭環境等の理由でそれを叶えることができない子どもたちに、その機会を提供する。付添としてピアノ講師等が入り、子どもたちを見守りながら、子どもの可能性や達成感を育む。なお、本事業の実施に当たっては「私のあしながおじさんプロジェクト」の寄附金の一部（受取負担金の20%）を財源に充当する。			
集客数	生徒数 延べ 562人	席数	-	集客率 - 会場 演劇練習室 他
開催日時	通年（513 コマ）			
参加料	無料			
市民参加	講師：地元のピアノ教師・地元在住の音大生 8 人 受付：2 人			
事業内容	ピアノを弾きたいという気持ちを持ちながら、それを自力では叶えることができない子どもたちにピアノと練習場所を提供する。付き添いとしてピアノ講師や音楽大学の学生が同席し、子どもたちを見守った。 対象：ピアノ教室に通っていない概ね小学1年生～中学3年生 期間：前期 4/4～8/29 42日、後期 9/5～3/18 60日 合計 513 コマ（1 コマ 30 分 一人当たり月 2 回程度） 【発表会】3月19日（日） 美術ロフト 入場無料 保護者等のみ観覧可 49人			
経費状況	収入 412,082 円	支出 652,045 円	収益率 63.2%	
アンケート結果	【生徒】・先生の説明がとてもわかりやすかった。先生と問題を出し合って、音やペダルをふんだり、弾いたりしてとても楽しかった。 ・「喜びの歌」を両手で弾けて、先生からほめてもらってうれしかった。なのでほめられるように日常生活もがんばって、楽しくなるようにしたい。 【先生】・発表会でちゃんと演奏できるのかな…と思っていた生徒さんも、とても頑張って、今日の本番は子どもたちの明るい可能性を感じ、真摯な演奏の姿にグッとくるものがありました。			
成果	平成 30 年から始まった本事業で、今回初めて発表会を行った。この事業がなければ、ピアノを習うことも、弾くことも諦めていたかもしれない子どもたちが、観客が音色に聴き入る演奏ができるまで成長した。今回の発表会によって自信を持ち、もっと上達したいというモチベーションが高まる機会となった。また、日頃は個人レッスンであるが、発表会の場に交流会も含ませたことで、生徒同士の交流や、先生同士の交流、そしてコミュニケーションも生まれてきた。また、本事業への寄付や、鍵盤楽器を持っていない子に使わなくなった電子ピアノを寄贈したいという申し出もあり、共感の輪が広がっているように感じている。「私のあしながおじさんプロジェクト」の寄付金の一部を本事業に充当しているため、共感の輪を寄付金という形でも更に募っていきたい。			



事業名		可児常磐津教室支援　巴瑠の会　おさらい会					
目的	市民に敷居が高く感じられがちな常磐津（歌舞伎と共に発展してきた「浄瑠璃」の流れをくむ「語り物」）を気軽に学ぶことで邦楽の魅力を伝え、伝統音楽を後世に引き継いでいく。また、成果発表の場であるおさらい会を開き、市内では聴く機会の少ない本格的な生演奏を市民に楽しんでもいただく。						
集客数	74人	席数	311	集客率	23.8%	会場	小劇場
開催日時	令和5年2月12日（日）　13時開演						
参加料	無料						
市民参加	フロントスタッフ（alaクルーズ）						
事業内容	【常磐津教室】 おさらい会に向け講師を招き、月1回程度の稽古を行う。 講師：常磐津巴瑠幸太夫、参加者：10人 【おさらい会】 教室参加者だけでなく、地域の方にも気軽に常磐津を楽しんでもいただけるよう公演形式で成果発表した。入口にて来場者に演奏曲目を全曲収めた詞章（歌詞）を配布した。 出演常磐津教室参加者10人、常磐津巴瑠幸太夫（講師）　賛助出演：西川三寿生、岸澤式松、常磐津三津貴						
経費状況	収入　0円	支出　3,234円	収益率　0.0%				
アンケート結果	【参加者の声】 ・一年に一度の発表会が出来ることをとても嬉しく思っている。 ・色々な方に支えてもらいながらこの発表会が出来ることをとても感謝している。						
成果	8年目の実施となり、参加者は初回からの参加者6人と途中からの参加者4人の合計10人となった。ア－ラ主催事業から変わり、可児常磐津教室として独立して6年が経過したが、会の中で役割分担をすることで安定した運営ができています。 「おさらい会」については、会館スタッフが全面的にフォローすることで、本格的な公演が継続できている。講師の演奏も含め、本格的な演奏会にすることで、参加者のモチベーションを高めるだけでなく、地域の方が素浄瑠璃を気軽に楽しめる機会になっている。						



事業名		第41回可児市美術展					
目的		豊かな人間性を育て、芸術・文化のかおり高いまちづくりを進めることを目的とする。					
集客数	出展数 262点 集客数 1,302人	席数	－	集客率	－	会場	ロフト、 ギャラリー他
開催日時	令和4年11月16日(水)～11月20日(日) 9時30分～18時 (20日は15時45分まで)						
市民参加	企画、方針の決定(市民運営委員)						
事業内容	・洋画、日本画、書道、彫塑工芸・デザイン、写真の5部門を募集した。 ・各部門の作品を専門の審査員により審査し、賞を決めた。 ・入選以上の作品を展示し、一般公開した。 ・各部門上位5賞(市美術展賞、市長賞、議長賞、教育長賞、光秀賞)と、高校生対象の薔薇賞を受賞した者に対し表彰式を行った。						
経費状況	収入	2,505,000円	支出	2,344,113円	収益率	106.9%	
アンケート結果	・今の幸せをみた瞬間に“しあわせ”を感じました。いつまでも見ていたいと思いました。ステキな絵でした。初めて美術展に来ましたが、とっても良かったです。 ・それぞれの個性が良く出ていて良い作品が多かったです。期間がもう少し長いといいですね。 ・いつも見応えのある作品ばかり。絵や書に今まであまり関心がありませんでしたが、知人の作品を見るためだけのつもりが、毎年大変楽しみにしている今現在です。楽しい時間を頂きました。 ・どれもとてもすばらしかったです。娘の書道を見に来たのですが、作品が発表できる場があり、とてもうれしいし、励みになると思います。また、他にも絵も見れて、とてもすてきな時間でした。ありがとうございました。						
成果	入場者数は減っている(1,459→1,302)ものの、応募数(出展数)は全体で昨年より微増(255→262)となった。新型コロナウイルス感染症の影響は昨年よりも落ち着いて見えたが、客足の完全な回復には至っていない。一方で、書道部門での高校生の出展数増加が顕著であった。アンケートからも分かるように、例年来場者には出展者の親類縁者・知人友人が多く、新規出展者の増加が新規来場者の増加に直結し、美術展自体の周知の拡大にも効果を発揮している。						



事業名		第30回可児市文芸祭					
目的	可児市における文芸への創作意欲を高め、文芸活動の振興を図るとともに芸術のかおり高いまちづくりを進めるもの。また、朗読会を実施することを通じて、文芸作品を作るだけでなく、耳からも楽しむ機会を提供する。						
集客数	応募点数 3,842点	席数	－	集客率	－	会場	ギャラリー 他
開催日時	【展 示】 令和4年11月30日（水）～12月4日（日） 【朗読会】 令和4年12月4日（日） 14時開演						
市民参加	市民運営委員（企画、方針の決定）						
事業内容	○一般の部 短編小説、随筆、現代詩、短歌、俳句、川柳、狂俳、俚謡の8部門を一般より募集して審査。優秀賞以上の作品を会期中、ギャラリーに展示。最終日に表彰式と文芸祭受賞作品の朗読会を開催した。 ○小・中学生の部 詩・作文、短歌、俳句の3部門を市内の小・中学生より募集して審査。特選以上の作品を展示した。 一般の部応募状況：1,006人 1,922点 小・中の部応募状況：1,920人 1,920点 優秀賞以上の作品についてはギャラリーに展示し、最終日に表彰式と、受賞作品の朗読会を開催した。 朗読：鬼頭典子（文学座）						
経費状況	収入	1,915,000円	支出	1,688,176円	収益率	113.4%	
アンケート結果	【朗読】 ・文化に力を入れている様子が伝わりました。羨ましく思います。続けて行ってほしいです。 ・久しぶりに生の朗読を聞きました。さすがプロ、間の置き方、声の強弱等参考になりました。 ・素晴らしい朗読を聞かせていただき、ありがとうございました。						
成果	募集から表彰式まで滞りなく行うことができた。審査員は3年任期の最終年で、昨年同様スムーズに審査が終了した。 一般の部は応募者数が昨年と比べ若干減少した。応募点数では短歌、川柳、俚謡が増加し、小説、随筆、現代詩、俳句、狂俳が減少した。小中学生の部は昨年と比べ応募者数が300名程減少した。 令和4年度は可児市制40周年の年だったので「市制40周年特別賞」が設けられ11名が受賞した。						



事業名

可児市ジュニア音楽祭

目的

市内で音楽活動をしている子ども達が一同に発表する機会を設けることにより、音楽への関心をさらに高めるとともに、文化創造センターへの愛着を持ってもらい、音楽あふれるまちづくりに寄与する企画を開催する。

集客数

700人

席数

1,019

集客率

68.7%

会場

主劇場

開催日時

令和4年7月3日（日） 13時開演

参加料

入場無料

出演者

18歳以下の子どもが主体で、市内を主な拠点として活動している団体。

市民参加

フロントスタッフ（alaクルーズ）

事業内容

本年度から「ジュニア音楽祭」とし、市内を拠点に活動する、18歳以下の若い世代の7団体が出演した。コロナ禍で練習が思うようにできなかった市内の高校、中学校の吹奏楽部を中心に参加団体が集まった。

【出演団体】

Twinkle little Cellos、可児市少年少女合唱団、可児市立蘇南中学校吹奏楽部、可児市立中部中学校吹奏楽部、可児市立西可児中学校吹奏楽部、帝京大学可児高等学校中学校吹奏楽部、可茂ジュニアウィンドオーケストラ～Resonair～

経費状況

収入 836,000円

支出 629,893円

収益率 132.7%

アンケート結果

- ・蘇南中学校のOBです。久しぶりに後輩たちの演奏が聞けて幸せでした！
- ・無料なので、とても入りやすかった。
- ・学校によって演出が工夫されていてとても個性があって良かったです。心が癒されました。
- ・とても良かったです。合唱団の方が伸び伸びとされていましたので、もっとたくさんの方が入るとよいと思いました。

成果

地元の中学校吹奏楽部を中心に7組の団体に出演いただいた。コロナ禍で発表の機会が減っていた若い世代に喜んで頂けただけでなく、来場者からも、このような状況下でも懸命に活動に取り組む姿が感動を与えた。3年ぶりの開催であったが、気軽に来場できる催しとして定着しており、出演者の知り合いだけでなく、一般の方にも来場いただいたことで、コロナ禍にあっても高い来場率を確保できた。



事業名		文学座と作るファミリー舞台 文学座俳優のキッズワークショップ					
目的	文学座との地域拠点契約として、文学座俳優による本格的な子ども向け演劇ワークショップ、市民参加者と文学座演出家で作る親子向けの舞台公演を実施し、公演鑑賞事業とは違った角度から文学座の魅力に触れてもらい、新しい演劇ファンを獲得すると共に、文学座の演劇ノウハウを可児の地域へ活かして、地域の社会貢献活動を行うことを目的とする。						
集客数	ファミリー舞台 参加者 44 人 キッズワーク ショップ 参加者 12 人	席数	－	集客率	－	会場	演劇練習室 演劇ロフト
開催日時	【文学座と作るファミリー舞台】 令和 4 年 4 月 17 日（日）～ 5 月 5 日（木） 【文学座キッズワークショップ】 令和 4 年 8 月 20 日（土）～ 21 日（日）						
参加料	キッズワークショップのみ参加料 1,000 円						
出演者	【文学座と作るファミリー舞台】 脚色・演出：稲葉賀恵（文学座） 出演：演劇ワークショップ参加者 【文学座キッズワークショップ】 講師：高橋ひろし（文学座）磯田美絵（文学座） ピアノ伴奏：福井明日香						
事業内容	【文学座と作るファミリー舞台】 文学座の演出家と一般市民が短期間で子ども向け演劇を制作し公演した。今回は宮沢賢治の人気短編小説「猫の事務所」を舞台化した。 会場：演劇練習室 【文学座キッズワークショップ】 文学座から講師を招いて子どもを対象にミュージカル「アニー」の一場面を使って、演劇ワークショップを実施した。12 人の子どもたちがプロの講師から指導を受け、2 日目には家族向けのミニ発表会を行った。 会場：演劇ロフト						
経費状況	収入 618,544 円	支出 1,351,279 円	収益率 45.8%				
アンケート結果	【参加者】 ・みんなが優しく接してくれたので楽しかった。ワークショップがまたやりたいと思った。 ・ミュージカルをやる時に、いろいろな過程があることがわかっておもしろかった。 ・はじめてのこともメキメキ上達してとても楽しかったし、友達もできて楽しかった。 ・広い場所で練習できてうれしかった。 【保護者の声】 ・感動した。 ・素晴らしいパフォーマンスでした。数時間のリハーサルでも参加者全員が本当に楽しんでいたことがわかりました。皆さんの功績に敬意を表します。						
成果	ワークショップ終了後に参加者に行ったアンケートからは、12 人中 12 人が「とても楽しかった」と答え、満足度の高いワークショップとなった。学校も学年もバラバラな 12 人だったが、稽古を重ねる中で徐々に仲良くなっていき、2 日目の昼休憩では昼ごはんを早々に済ませて芝生で遊ぶ様子も見られた。保護者向けの発表会では 32 名の方が来場し、2 日間の成果に驚く方や、感動して涙ぐむ方もいらした。						

事業名

おでかけ落語会

目的

プロの落語家が市内の学校に出向いて落語会を実施。落語を生徒に聞いてもらうだけでなく、扇子を使った表現などを実演しながら解説するなど、日本が誇るべき伝統話芸の魅力や表現の奥深さを伝える。

集客数

841人

席数 -

集客率 -

会場 市内中学校5校

開催日時

令和4年10月25日（火）～28日（金）

参加料

無料

出演者

桂やまと（落語家）

落語家・桂やまとが市内の中学校に出向いて落語のワークショップをおこなった。落語を聞くだけでなく、扇子を使った表現などを実際に体験する機会を設けた。

事業内容

【訪問先】

10月25日（火）東可児中学校 2年生3クラス
10月26日（水）西可児中学校 3年生3クラス
広陵中学校 3年生2クラス
10月27日（木）中部中学校 2年生8クラス
10月28日（金）蘇南中学校 2年生9クラス

経費状況

収入 160,852円

支出 318,605円

収益率 50.5%

アンケート結果

- ・落語はいままでなじみがなくて生で見たことがなかったけど、また見たいって思えるくらいおもしろかったです。1時間があっという間にすぎた気がします。今回の落語会のおかげで少し落語に興味ができました。また機会があったら落語を見たいです。
- ・一人で何役も演じていて、とてもすごいと思いました。限られたものしか使っていないのに様々なことができて、改めて落語家の人はすごいと思いました。
- ・いつもテレビで見ているものとは迫力が違い、新鮮で面白かったです。

成果

アーラとして初めての取り組みであったが、いずれの学校でも生徒の反応がよく、アンケートでも95%近くが「とても満足」「少し満足」という結果となった。出演者の落語家・桂やまとはアウトリーチに非常に慣れており、「落語」についての解説から小道具の使い方、生徒とのコミュニケーションの取り方など、話の進め方が非常に上手く、落語を初めて見る生徒からもかなり高い評価を得ていた。アウトリーチに参加した生徒・先生から「また見たい」「もっと聞きたい」という声が多数聞かれたので、アーラのアウトリーチ事業の一環として今後も継続していきたい。



事業名		みんなが演奏者！一五一会ライブ！					
目的	一五一会は可見市が世界に誇るギターブランド、ヤイリギターと人気ミュージシャンのビギンが共同で開発した世界一簡単に弾けるといわれる楽器。ヤイリギター公認講師が市内の中学校に出向いて、その演奏方法を生徒たちに直接指導を実施し、最後は全員で合奏を行う。簡単に弾ける楽器だからこそ生徒たち全員に演奏が出来るという成功体験を生み出し、自己肯定感を高めると共に、みんなで演奏することで音楽の素晴らしさや合奏の楽しさを体験してもらい、クラスの仲間づくりに寄与することを目的とする。						
集客数	170人	席数	－	集客率	－	会場	広陵中学校 西可見中学校
開催日時	令和4年5月18日（水）～20日（金）6回						
参加料	無料						
講師	堀部勝彦（ヤイリギター公認 ケイティクラブ公認 一五一会インストラクター）、アシスタント：竹中千晶						
事業内容	四弦楽器、一五一会のインストラクターが中学校に出かけて、クラス単位で生徒に演奏の楽しさを教えた。指一本で押さえられる手軽さから、生徒たちの上達も早く、最後には全員で「涙そうそう」など、3曲を合奏した。 事前に講師と打ち合わせをして、生徒が弾きやすいプログラムを選定し、黒板に楽譜を貼ってすぐ弾けるようにした。当日の椅子の配置も少し円形にして円形劇場のようなお互いの顔が見えやすい配置にして、生徒同士のコミュニケーションをできるよう工夫した。講師の生ライブも聴けるようにして、弾くだけでなく聴くライブ体験をできるように工夫した。 参加人数：西可見中学校－109名、広陵中学校－61名						
経費状況	収入	31,720円	支出	50,243円	収益率	63.1%	
アンケート結果	・めっちゃ！たのしかったです！女子に間違えられたっていうのも、逆に思い出に残って、話せる人が増えました！ほんとに「一五一会」だなと思いました！またこんなことをやりたいです！夢がふくらみます！ありがとうございました！！（1年生） ・最初は、一五一会ライブと聞いて、楽器を想像できなかったけれど、行ってみたらギターのようなもので驚いた。僕はギターが弾ける人をとてもかっこいいと思っていたので、ギターの簡単なものでも弾けてとてもうれしかったです。また、友達と弾けることがとてもおもしろかったし、楽しかったです。いろいろな楽器を使ってみたい。（3年生） ・仲間が弾いている時に、音を出さずに指の位置を確認する姿や、一度で弾けなくてもあきらめずに弾こうとする姿がありました。（先生）						
成果	生徒の90%が「とても満足・少し満足」と回答し、81%が「友達と一緒に演奏する楽しさを実感できた」と回答した。「一緒に演奏することで友達の新しい一面に気づいたか？」の質問には計72%の生徒が友達の何らかの変化に気づいたようであった。先生の方も「とても満足・少し満足」と回答したのが100%で、「生徒の反応を見て普段と違う点があったか」の質問には71%の先生が「あった」と回答した。このことから、生徒と先生の満足度が高く、生徒の心理的な変化も起こったといえる。						

事業名	みんなのディスコ 2022			
目的	障がいのある方は、公の場所で音楽や演劇、映画、ダンスなど芸術を楽しむ機会が少ないのが現状である。障がいのある方の社会的環境の改善に向けて、障がい、国籍、年齢、性別、全ての垣根を越えて、音楽で繋がる場所を提供することで、社会的な自立と生きがいを創出し、また、障がいのある方と健常者の相互理解と交流を育むことで、偏見や差別のない街づくりに寄与する。			
集客数	54人	席数	-	集客率 -
会場	演劇ロフト、美術ロフト			
開催日時	令和4年6月18日（土）【スピンオフ企画】10時30分～11時30分 【みんなのディスコ】13時～15時30分			
参加料	300円			
出演者	MC／パフォーマンス：うたのギリギリおにいさん（川名洋行） ドラムサークルファシリテーター：中村陽子（一般社団法人ドラムサークルファシリテーター協会） DJ：AKIRA、KZY、KYORO			
事業内容	音楽とダンスを通じて、障がい、国籍、性別、世代など、あらゆる垣根を越えて人々が気軽に交流できる場を設けた。障がい者福祉施設や高齢者福祉施設など各施設の感染対策等を考慮し、オンラインでも参加できるように工夫した。また、スピンオフ企画として、ドラムのワークショップを開催し、障がいのある方も楽しんだ。 【みんなのディスコ】受付で仮装グッズを配布し、思い思いの格好で楽しんだ。 ①DJ タイム ②ドラムサークル ③うたのギリギリおにいさんオンステージ ④ダンス発表会 ⑤DJ タイム 会場：演劇ロフト 【スピンオフ企画】子どもから大人まで、みんなで円になり、ファシリテーターの誘導のもと、ジャンベなどの打楽器を奏でた。 会場：美術ロフト			
経費状況	収入	199,264円	支出	401,411円
			収益率	49.6%
アンケート結果	【参加者の声】 ・愛知県から参加したのですが、来年も参加したいと思うくらい楽しかった。 ・たのしかったです。 ・音楽が好きで、みんなで遊びたいと思い参加しました。本物のDJが来ていて、とてもよかった。 【ボランティアスタッフの声】 ・人数は少なかったが、少ないなりに、ドラムの体験などとても良かった ・いつも関わることのない方達と関わることでとても良い機会でした。娘のいつもと違う姿も見られて良かったです。			
成果	オンラインでも楽しめるよう、打楽器を使ったコミュニケーション・ドラムサークルを取り入れた。同日午前にも開催したところ、障がいあるなし関係なく、子どもから大人まで楽しめ、楽器初心者も気軽に参加できたことから大変好評だった。MCの”うたのギリギリおにいさん”こと川名洋行さんのステージでは、有名な曲が中心の構成のおかげで全員一緒に楽しく踊れ、あらゆる参加者が一体となって楽しむことができ、当事業の目的である「障がいの有無に関係なく思いきり音楽を楽しむ機会」をつくることができた。また、今回はオンラインで撮影した映像をダイジェスト版として編集し、当日の様子を多くの人に見ていただくことができた。映像に残すのは先生方からも好評だった。			



事業名	就学前教育のための非認知能力開発ワークショップ (わくどきぐんぐん)			
目的	幼児期の親子関係や周辺環境のなかで自然に身につけていくべき子どもたちの非認知能力が生まれ合わせた環境によって損なわれることは、結果としてその子どもたちの社会性や情緒性を奪うことになり、自身の将来だけではなく、社会全体にとっても様々な悪影響を及ぼす可能性が考えられる、そういった理由から経済的余裕のない世帯の子どもたちを対象としたコミュニケーション・ワークショップを実施し、その経過を観察する。			
集客数	74人	席数	－	集客率 ー 会場 美術ロフト 他
開催日時	令和4年7月8日（金）11月4日（金）令和5年1月13日（金）			
参加料	無料			
講師	ファシリテーター：さとうりつこ（NPO 法人あそび環境 Museum アフタフ・バーバン）、清水洋幸（一般社団法人あそび心 Base アフタフ・バーバン信州） アシスタント：山田久子（多文化演劇ユニット Michi） コーディネート及びアシスタント：絹川友梨（俳優、ワークショップ・ファシリテーター）			
市民参加	Hands of God Kindergarten の年長クラス（5 歳児）			
事業内容	就学前の子どもたちがコミュニケーションゲームや演劇の物語性など豊かなイメージの世界を「遊び」として体験するなかで、①他者との協働、②感情コントロール、③目標の達成などの非認知能力を自然な形で獲得する機会とする。また将来、外国籍の子どもたちにとって「劇場」という地域の文化施設が「家庭および外国人コミュニティ」「学校」のほかにも気軽に楽しくアクセスできる「サードプレイス（もう一つの我が家のような場所）」となるよう大切な思い出と人のつながりを醸成する。「すいか」や「おふろ」、「ゆき」をテーマに日本文化や季節感を楽しむワークショップを実施した。			
経費状況	収入 307,808 円	支出 737,023 円	収益率 41.8%	
アンケート結果	・ ああ、楽しかった！園のみんなで楽しみました。またアーラに戻って遊びたい！新しい感覚で学ぶのが好き。 ・ 箱（スイカのかげらに見立てていた）をみつけて、集めて大きなスイカにしたよ。アーラに行くのが大好き！ ・ 楽しい歌を歌ったり、お話の中でゲームをしたりとても楽しかったと言っています。子どもがその日何をしたのか話してくれるのは親としてとても幸せです。			
成果	別事業の「未来の演奏家プロジェクト」にも参加したり、卒園式をアーラで行ったり、この事業を通じて子どもたちはアーラに来る機会が増えた。ワークショップを通じて、他者との協働や、感情コントロール、目標の達成などの非認知能力を自然な形で獲得する機会をつくることができた。 翌年度から市内の小学校に通いですが、これをきっかけにアーラの事業に参加したり、放課後に遊びに来たり、またアーラの児童ワークショップで再会することになる。今後も子どもたちの様子を見守っていきたい。			



事業名		平田オリザの「対話を考える」モデル授業			
目的	平田オリザによる演劇的な教育手法を学校という教育現場に用いることにより、子ども達のコミュニケーション能力の向上を図ることを目的とする。				
参加者数	47人	席数	－	集客率	－
会場	レセプションホール				
開催日時	令和4年7月29日（金）9時30分～16時45分				
参加料	無料				
参加者	市内および近隣市町村の小中学校に勤務する教員、教育に関わる市職員				
講師	平田オリザ（劇作家・演出家）				
劇作家・演出家で、教育・文芸・言語などあらゆる分野で活躍する平田オリザを講師に迎え、市内小中学校の教員等を対象とした演劇手法に関わるワークショップ&講義を行った。					
事業内容	[内容] ①教職員向けワークショップ（9施設20人参加） 時間：9:30～15:00 ②教育関係の市職員向け講義・座談会（9施設27人参加） 時間：15:30～16:45				
経費状況	収入	85,631円	支出	200,624円	収益率 42.7%
アンケート結果	・伝える側と受け手側の認識のズレや今後求められるコミュニケーション能力について、よく学ぶことができて有意義な時間となった。体験型の講座であったので、受け手となる生徒の気持ちについても知ることができた。今回学んだ理論やワークショップを実践に活かしていきたい。（中学校教員） ・「演劇」という題材を通して、「学校のあり方」を学びました。子ども一人一人の存在価値を高め、学習過程に協働的な学びを必ず入れていくことの大切さを確信した。（小学校教員）				
成果	3年度はコロナウィルス感染症の影響で行うことができなかった、ワークショップ形式の講義を行い、参加者が「演劇手法を用いたコミュニケーション能力育成のための手だて」を身体で体験することができた。その場で知り合った参加者同士で、ペアになったり、グループになったりしながらワークショップを行ったことで、志をともにする教育関係者とのつながりの形成にも繋がった。後半の座談会では、  可見市内学校の管理職の先生方も参加し、現場の感覚だけではなく、「学校経営」の部分にも関わったコミュニケーション能力の育成方法について、若手職員も交えて話すことができたため、可見市内のコミュニケーション教育に関する考え方の意識統一・向上に貢献したと考えることができる。				



事業名		まちが元気になる処方箋					
目的	地域の公共劇場として進むべき方向性を、市民と職員が共有する機会とし、今後の地域の公共劇場はどのような役割を地域社会から求められるか、現代の劇場が抱える様々な課題も視野に入れながら、市民と共に議論を深め、学ぶことを目的とする。また、令和4年度は、市・関係機関・アーティストとともに文化芸術を活用した社会的処方箋に関するラウンドテーブルを設け、議論を深めていくとともに「まち元気そうだん室」機能の役割を明確化し、同時に令和5年度から「世界劇場会議」の後継事業としてスタートする「社会的処方箋 EXPO（仮）」の視察・調査を行っていく。						
参加者数	114人	席数	123	集客率	92.7%	会場	小劇場
開催日時	令和4年4月20日（水） 19時～20時30分						
参加料	全席自由 500円						
出演者	中貝宗治 一般社団法人豊岡アートアクション 理事長、前・兵庫県豊岡市長 堀部好彦 可児市教育長 箆橋義朗 可児市文化創造センター ala 館長、前・可児市教育長 モデレーター：栗田康弘（当財団職員）						
事業内容	【まちが元気になる処方箋】 館長がゲストを迎え、「アーラをつくる、つながりと共創のプラットフォーム」をテーマに、公開座談会を開催した。質問コーナーでは活発な意見交換が行われ、文化芸術を活用した子どもたちへの取組みについて、学校、地域、行政、劇場がどう役割を担っていけるか議論が展開された。 1部 講演 中貝宗治：『パフォーミングアーツが「劇場」の外にあふれ出す』 豊岡の事例を紹介。 2部 座談会・質問コーナー：中貝宗治、堀部好彦、箆橋義朗、栗田康弘 「子ども・若者支援」「地域社会の活力」「行政×文化芸術×市民活動」3つのテーマをベースに観客も巻き込んでディスカッションが行われた。 【まち元気そうだん室】ラウンドテーブル 教育、多文化共生、福祉・医療など様々な分野のステークホルダーとの話し合いを全7回、隔月ペースで実施した。						
経費状況	収入	127,036円	支出	452,421円	収益率	28.1%	
アンケート結果	・芸術と教育が合わさることで、今の地域の課題が解決に向かう可能性を感じた。特に不登校生徒や発達障がいといわれている特別な感性・能力を持っている子どもたちの幸せな未来のために、アーラの役割は大きいと思いました。 ・アートと通しての新しい発見、新しい楽しみを皆が抱くことができる可能性について拝聴してワクワクする気持ちになりました。						
成果	豊岡市からゲストを招いたことで、文化芸術を活かしたまちづくりの先進事例を知ることができ、可児市もアーラを軸としてより地域の活性化につながることを市民の方々に理解していただけた。また質問コーナーで高校生の、子どもたちの居場所をつくりたい、という発言に対してのアドバイスがあり、その高校生がアーラで居場所づくりに取り組むきっかけとなった。今回、学校の先生や、子どもの居場所づくりをされている方、文化芸術関係者、行政職員、議員など、多様な方々が集まった。子どもたちのための熱い思いをを「オール可児」で結びつけるプラットフォームとしてアーラはこれまでよりも進化した役割を担っていきたい。 「まちが元気になる処方箋」に参加した地域のステークホルダーとともに、新たな事業の「アーラまち元気部」の取組みを検討することができ、お互いの強みを活かして協力していくことができた。						



事業名		アーラ・シアター・カレッジ					
目的	人口の約3割が65歳以上である可児市において、高齢者の方々の介護予防、コミュニティ作りを目的に実施。また、本講座は地域のコミュニティアーティストの人材ネットワーク作りにも寄与する						
参加者数	42人	席数	－	集客率	－	会場	各諸室
開催日時	令和4年7月11日（月）、8月8日（月）、22日（月）、29日（月）、9月12日（月）						
参加料	落語 5,000円、デッサン 3,000円、太極拳 2,500円						
事業内容	「学びたい！」「やってみたい！」という市民のニーズにお応えして、文化芸術を通した新たなコミュニティと生きがいを創出するシアター・カレッジを実施した。最終日に交流発表会を実施した。 【オリエンテーション】 7/11（月）9:30～9:50 レセプションホール 【講座】 ・落語 参加者数 2人 講師：登龍亭獅鉄 ・デッサン 参加者数 12人 講師：田口由花 ・太極拳 参加者数 28人 講師：佐藤裕美子						
経費状況	収入	265,566円	支出	362,748円	収益率	73.2%	
アンケート結果	・楽しい5日間でした。知らない人とも声をかけ合って、楽しくできました。 ・充実した5日間でした。 ・もう少し回数を多くしてほしい！！5回では少ない。 ・5日間出席でき、楽しい時間でした。 満足度が高く、回数を増やして継続を希望する声が多かった。						
成果	「今回の講座で、落語・デッサン・太極拳とおした新しい仲間・友人ができましたか？」の質問に82%の参加者が、出来たと回答しているので、コミュニティ形成に寄与できたといえる。また、アーラの他の公演に関心を持ったかの質問に、96%の参加者が、持った、少し持ったと回答し、またアーラコレクションのチケットを購入したという声も複数あり、アーラのPRとチケット販売促進に貢献できた。						



事業名		アーラ未来の演奏家プロジェクト 2022					
目的	若手演奏家が市民と直接交流し、演奏家の人柄を知りながら身近に音楽を体験することにより、音楽の持つ魅力を広げる。5日間という可見滞在期間中に様々なコミュニティプログラムを展開することで、演奏家が可見市に思い入れが芽生えつつ技術研鑽の時間となることを目的とする。						
集客数	公開リハーサル等 573人、 劇場公演 168人	席数	－	集客率	－	会場	美術ロフト、 小劇場、 市内小学校 他
開催日時	令和4年6月1日（水）～5日（日）						
チケット	公開リハーサル他 無料、劇場公開 全席指定 500円						
出演者	クラリネット：篠塚友里江、ピアノ：斎藤龍、コーディネーター：佐野秀典						
事業内容	実力派演奏家が可見市に5日間滞在し、小学校への出前授業、公開リハーサルやロビーコンサート、個人レッスンなど様々な企画を織り交ぜ、市民と交流を重ね、最終日に集大成となるコンサートを開催した。 6月1日（水）ロビー・コンサート、公開リハーサル、ウェルカムコンサート 6月2日（木）帷子小学校おでかけ授業、はじめての体験コンサート、公開リハーサル 6月3日（金）今渡南小学校おでかけ授業、ロビー・コンサート、レクチャー付き公開ゲネプロ 6月4日（土）斎藤龍ピアノリサイタル『行進曲』、コンサートが2倍楽しめるワンポイントレクチャー、アーラ未来の演奏家コンサート 6月5日（日）ピアノ・クラリネット公開レッスン、フェアウェル・コンサート						
経費状況	収入	408,993円	支出	697,062円	収益率	58.7%	
アンケート結果	・今日の授業は今までで一番楽しかったです。ハンコもおしてもらえたし、生でピアノとクラリネットを見れて最高でした（帷子小学校6年生）。 ・今日は、いろんな楽器でいろんな演奏を聞けて、体験（ピアノをさわったり、中を見たり）できて、クラリネットもぶんかいしてひけるとい事が分かり、すごくておもしろかったです（今渡南小学校5年生）。 ・とっても意欲的でしたらしい演奏でした。とても満足です（未来の演奏家コンサート・70代女性）。 ・今年度は久しぶりの開催、とてもよかったです。やはりホールで音楽が聴けることはよいですね（未来の演奏家コンサート・50代女性）。						
成果	昨年度、新型コロナウイルスの感染拡大防止で中止となったため、3年ぶりの開催となった。会場での密を避けるため、ピアノリサイタル、未来の演奏家コンサートは会場が美術ロフトから小劇場へと変更になった。小学校でのおでかけ授業では今までのような合唱と一緒に給食を食べるといった体験ができなかったが、コーディネーターの司会により小学生と交流を深めることができた。また、今回「はじめての体験コンサート」を行ったが、外国籍の子どもが通う保育園や障がい者福祉施設の方々が参加し、アーラらしい多様な人々が集うコンサートとなった。リハーサル、コンサート、アウトリーチを通じてアーティストが可見の人達と交流を深めることのできた5日間だった。						

事業名		世界劇場会議国際フォーラム Final in 可児						
目的		劇場が「社会機関」としてその公益性が期待される時代に変わりつつある。貧困、格差、差別、つながりの欠如等に起因する「生きづらさ」や「生きにくさ」からの解放を使命とする、「文化芸術の社会包摂機能」の重要性が求められている。問題解決型の国内外の取り組みから自身の活動のヒントを探り、解決の糸口を探る時間とし、同時にアフターコロナにおける新しい劇場の役割についても検討することで、ムーブメントを起こしていく機会とする。						
集客数		参加者 165人	席数	－	集客率	－	会場	小劇場
開催日時		令和5年1月26日（木）、27日（金）						
ゲスト		セーラ・ジー（スピタルフィールズ・ミュージック代表理事） ゾイ・アームフィールド（ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー ラーニング主任） 福島明夫（青年劇場 劇団製作責任者） 伊藤達也（東京藝術大学社会連携センター特任教授） 森合音（四国こどもとおとなの医療センターアートディレクター、NPO アーツプロジェクト理事長） 落合千華（一般社団法人 CoAr 代表理事、慶応義塾大学政策・メディア研究科研究員） 衛紀生（可児市文化創造センター シニアアドバイザー兼まち元気そうだん室長）						
事業内容		【テーマ】 劇場は社会に何ができるか、社会は劇場に何を求めているか ～文化芸術による社会的処方箋活動の実践と評価～ 1日目：緊急セッション、講演 1、講演 2、セッション 2日目：事例報告、講演 3、総括セッション 「文化芸術による社会的処方箋活動の実践と評価」について、英国の先進事例をもとに、日本国内での取組みについても共有することができた。一日目は、英国の補助金事情や、英国オーケストラの具体的実践、国内美術シーンの研究的取り組みに関わる内容で、行政、公共劇場・音楽堂関係者、美術館や博物館に関わる関係者まで、幅広い政策展開の可能性を知ることができる機会となった。二日目は、社会的処方箋の劇場経営への応用や日本の医療現場における実践的取り組みを知り、その社会的価値の評価の重要性を考える機会となった。						
経費状況		収入	2,461,684 円	支出	5,312,525 円	収益率	46.3%	
アンケート結果		・事例報告の社会包摂に対する考え方や取り組みについて具体的な説明があり、今後、各機関との協力するプラットフォーム構築が重要であると再認識できました。 ・社会的処方箋の先進事例、文化芸術の社会的価値を伝える評価の役割について聞くことができ今後に役立てたい。						
成果		劇場・文化芸術を取り巻く経営環境は非常に厳しく、単独では解決できない諸課題に取り組むための新たなパートナーシップや実践・研究成果の共有、人材育成などにつながるための場が求められている。今回、市民活動家、個人アーティストの方、学生や市民の皆さんにも聞いていただけたことで、今後アアラが進めていくプラットフォームとしての役割に対して共感を促すことができたことは、今後の活動を進めていくにあたって大きい成果である。 可児でのフォーラムは最後となるが、国内において社会包摂、社会的処方箋活動の具体的な事業の取り組み方について学ぶ機会へのニーズは高まっている。今後は、より現場と結びつけるため、プログラム開発や、ワークショップ体験など、実践的な学びの場を作りたい。						



事業名	世界劇場会議国際フォーラム Final in さいたま		
目的	劇場が「社会機関」としてその公益性が期待される時代になりつつある。貧困、格差、差別、つながりの欠如等に起因する「生きづらさ」や「生きにくさ」からの解放を使命とする、「文化芸術の社会包摂機能」の重要性が求められている。問題解決型の国内外の取り組みから自身の活動のヒントを探り、解決の糸口を探る時間とし、同時にアフターコロナにおける新しい劇場の役割についても検討することで、ムーブメントを起こしていく機会とする。さいたま市と協力して開催して東日本へのネットワークを広げることを目的とする。		
集客数	参加者 64人	席数 -	集客率 -
		会場	さいたま市文化センター
開催日時	令和5年1月31日（火）、2月1日（水）		
ゲスト	セーラ・ジー（スピタルフィールズ・ミュージック代表理事） ゾイ・アームフィールド（ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー ラーニング主任） 福島明夫（青年劇場 劇団製作責任者） 伊藤達也（東京藝術大学社会連携センター特任教授） 森合音（四国こどもとおとなの医療センターアートディレクター、NPO アーツプロジェクト理事長） 源由理子（明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授） 衛紀生（可見市文化創造センター シニアアドバイザー兼まち元気そうだん室長）		
事業内容	【テーマ】劇場は社会に何ができるか、社会は劇場に何を求めているか ～文化芸術による社会的処方箋活動の実践と評価～ 1日目：緊急セッション、講演1、講演2、セッション 2日目：事例報告、講演3、総括セッション 「文化芸術による社会的処方箋活動の実践と評価」について、英国の先進事例をもとに、日本国内での取り組みについても共有することができた。一日目は、英国の補助金事情や、英国オーケストラの具体的実践、国内美術シーンの研究的取り組みに関わる内容で、行政、公共劇場・音楽堂関係者、美術館や博物館に関わる関係者まで、幅広い政策展開の可能性を知ることができる機会となった。二日目は、社会的処方箋の劇場経営への応用や日本の医療現場における実践的取り組みを知り、その社会的価値の評価の重要性を考える機会となった。		
経費状況	収入 1,870,000 円	支出 1,139,186 円	収益率 164.2%
アンケート結果	・ 可見市のまち元気プロジェクトが14年も続けられているとのことで、参考にしたいプロジェクトがあり、とても興味深かったです。事業をあらゆる市民に届けようという施設のみならず企業や地域団体などが協力しているので素晴らしいと思う。 ・ 登壇者がすばらしい。イギリスのお二人の話もわかりやすく日本でも参考になる点が多かった。同時通訳が見事なレベルだった。		
成果	可見まで来ることが難しい方々に対して、関東圏を中心にお越しいただくことができた。劇場・文化芸術を取り巻く経営環境は非常に厳しく、単独では解決できない諸課題に取り組むための新たなパートナーシップや実践・研究成果の共有、人材育成などにつながるための場が求められている。今回、市民活動家、個人アーティストの方、学生や市民の皆さんにも聞いていただけたことで、今後アーラが進めていくプラットフォームとしての役割に対して共感を促すことができたことは、今後の活動を進めていくにあたって大きい成果である。 本フォーラムは終了となるが、国内において社会包摂、社会的処方箋活動の具体的な事業の取り組み方について学ぶ機会へのニーズは高まっている。今後は、より現場と結びつけるため、プログラム開発や、ワークショップ体験など、実践的な学びの場を作ることを検討していきたい。		



事業名	新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによる おでかけコンサート						
目的	日本を代表するオーケストラの一つで、アーラと地域拠点契約を結んでいる新日本フィルハーモニー交響楽団が地域に出向き普段音楽に触れる機会が少ない市民が一流の音色に触れ、また音楽の楽しさを知る場を作ることを目的とする。						
参加者数	266人	席数	－	集客率	－	会場	市内小学校
開催日時	令和4年6月21日（火）～23日（木）						
参加料	無料						
出演者	田村直貴（ヴァイオリン）、深谷まり（ヴァイオリン）、間瀬容子（ヴィオラ）、サミュエル・エリクソン（チェロ）						
事業内容	新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーが市内小学校に出向いたおでかけコンサートを行った。楽器の音が出る仕組みや演奏のコツ、指揮者体験を織り交ぜるなど、楽しみながらクラシック音楽に触れる機会を提供した。 【実施場所】 桜ヶ丘小学校、兼山小学校、土田小学校、東明小学校						
経費状況	収入	432,838円	支出	969,140円	収益率	44.7%	
アンケート結果	・とてもすごくて私もひいてみたいと思いました。もっといろいろな曲をききたいと思いました。 ・とてもきれいだった。動画より、本物できくと、目がきらきらするぐらいきれいだった。 ・初めてコンサートを見て、こんなにもCDとちがうんだということにおどろきました。 ・今回のコンサートがとても楽しかったので、できたらアーラに行っていつかまた聞きたいなと思いました。						
成果	新型コロナウイルスの影響で参加希望校が少ない中、小学校4校で7回「おでかけコンサート」を実施することができた。プログラムがクラシックの名曲や映画音楽など親しみやすい曲だったため、子どもたちがリラックスして楽しんで聴いている様子が印象的だった。指揮やヴァイオリンの体験コーナーでも積極的に手を挙げていて、音楽の楽しさや面白さが伝わったようだった。日頃接することのないプロの演奏家と交流することができ、子どもたちにとっても貴重な経験になった。						

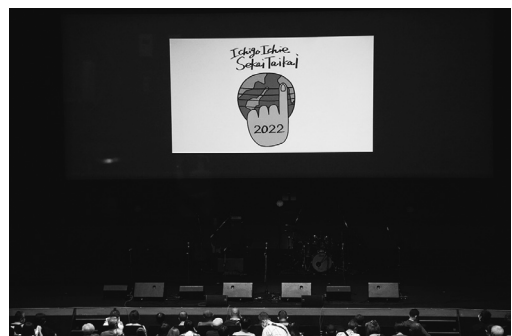


4 共催事業 事業報告

事業名	第三回一五一会世界大会		
目的	ヤイリギターのある街可児市をPRし、文化の息吹が感じられる地域づくりを行う。		
参加者数	297人	席数	657
		集客率	45.2%
		会場	主劇場
開催日時	令和4年10月1日（土）16時開演		
チケット	全席指定 2,500円		
出演者	BEGIN、迎里計、会津里花、楠瀬敏夫、はなとみ綾、大澤圭貴、S'mores、ニッ橋龍、ミズノオト、あさとあさお、一五一咲、高橋麦、下北沢BB Tonk、福袋、橘隆司、他		
市民参加	フロントスタッフ（alaクルーズ）		
事業内容	ヤイリギターとビギンが共同で開発した四弦楽器「一五一会」を愛用するアーティストによるコンサート。関連企画として、一五一会のワークショップやギャラリーで八重山諸島や可児市、ヤイリギターのPRブースを設け、多くの人で賑わった。 【プログラム】 ワークショップ体験者の演奏／はなとみ綾♪わしたヤイマ／大澤圭貴♪Moonriver／S'mores♪おだいどこ／ニッ橋龍♪流星の12弦ギター／ミズノオト♪輝く銀の魔法の話／あさとあさお♪友達／一五一咲♪空も飛べるはず／高橋麦♪一五一YEAH！／下北沢BB Tonk♪俺ら下北沢BB Tonk／福袋（井伊公恵・岡林大亮・西山潤）♪星のかけらを探しにいこうagein／橘隆司♪Another Day Dream／島袋優♪演奏／3教室合同演奏♪笑顔のまんま／比嘉栄昇♪ふるさと♪ていんさぐぬ花♪東京ていんさぐ赤い花♪黄昏のビギン♪みさきめぐり♪こころのこだま 【アンコール】 ♪島人ぬ宝		
経費状況	収入 78,750円	支出 5,000円	収益率 1575.0%
アンケート結果	・建物が新しく、芝生広場が自由な感じがして良かったです。 ・必ず第4回も来ます！		

成果

市とヤイリギターの協力で、ギャラリーやホワイエに BEGIN・石垣島×ヤイリギター・可児市の展示を行い、全国から集まるお客様に対して可児市のPRを行うことで、本事業の目的を果たすことができた。



事業名	オペラシアターこんにゃく座『森は生きている』 オーケストラ版			
目的	可見市民に質の高い舞台芸術作品の鑑賞機会を提供するのがアーラの重要なミッションの一つであるが、舞台芸術作品においては、その作品の質の高さとともに、表現の多様性が感じられるものであることも重要である。舞台芸術の中でも特に敷居が高いとされ、鑑賞提供機会の少ない「オペラ」を、子どもにも親しみやすく家計的にもやさしい形で提供する。			
参加者数	532人	席数	722	集客率 73.7%
会場	主劇場			
開催日時	令和4年12月18日（日）14時開演			
チケット	全席指定 一般 4,000円 25歳以下 2,000円			
出演者	オペラシアターこんにゃく座			
市民参加	フロントスタッフ（alaクルーズ）、学生ボランティア			
事業内容	平成4年の初演から、日本全国各地で巡演され、老若男女を問わず多くの人たちを魅了してきた、オペラシアターこんにゃく座の代表作であり、令和3年に「新演出・オーケストラ版」としてリニューアルされ、より新しく、重厚な舞台作品となった。平成19年にアーラで上演された旧版に続いての上演。 原作：サムイル・マルシャーク／訳：湯浅芳子／台本・作曲：林光／演出：眞鍋卓嗣 美術：伊藤雅子／衣裳：山下和美／照明：金英秀／振付：白神ももこ／舞台監督：八木清市／音楽監督：萩京子			
経費状況	収入 234,120円	支出 46,190円	収益率 506.9%	
アンケート結果	・初めて来ました。とても素敵な劇場で満足度が高かった。暖かい日にまた来たい。オーケストラが美しく、こんにゃく座さんの演技がしなやかで、とても満たされた時間でした。歌声が心に残ります。 ・きれいな劇場で快適に鑑賞できました。生のオーケストラで観る森は生きている、素晴らしいかったです。音楽の力で細胞がぞわぞわしました。色んな思い出があり懐かしかったです。 ・子どもと一緒に楽しく見ることができました。コロナ対策がしっかりされて安心しました。 ・演劇は心の栄養といいますが、本当に心が満たされました。斉藤公子保育で育った娘と一緒に鑑賞。小さい頃から慣れ親しんだ歌がいっぱいで楽しめました。会場もとても素敵でした。			
成果	券売開始以降、大人こどもを含めた団体予約での予約が目立った。最終的には、4名以上の予約が全体の2割弱、25歳以下のチケットが約3割と、他の事業と比べて団体・若年層の来客が非常に多かった。アンケートでも「初めてアーラで鑑賞する」と答えた割合が5割を超えており、市外の割合も非常に多かったため、市周辺の新規層を開拓できたと言える。			
				

事業名	新日本フィルメンバーと仲間たち			
目的	地域拠点契約を結ぶ新日本フィルハーモニー交響楽団の若手奏者を招き、コンパクトで気軽に楽しめる演奏会を実施。若手楽団員の育成や創客につなげる。			
参加者数	197人	席数	313	集客率 62.9% 会場 小劇場
開催日時	令和4年12月11日（日）14時開演			
チケット	全席指定 一般 3,000円 25歳以下 1,500円			
出演者	山本美樹子、三雲はるな（ヴァイオリン）、脇屋冴子（ヴィオラ）、長谷川彰子（チェロ）			
市民参加	フロントスタッフ（alaクルーズ）			
事業内容	新日本フィルハーモニー交響楽団のチェロ首席奏者である長谷川彰子（多治見市出身）らによる弦楽四重奏団のコンサート。過年度の未来の演奏家プロジェクトなどを通じて可見市民との交流が多くあり、温かい雰囲気演奏会となった。 【プログラム】 ベートーヴェン：2つのオブリガート眼鏡付きの二重奏曲 変ホ長調 WoO.32 メンデルスゾーン：弦楽四重奏曲 イ短調 作品13 ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 イ短調 作品132			
経費状況	収入 68,670円	支出 92,447円	収益率 74.3%	
アンケート結果	・4人の方の演奏が息もぴったりで、素晴らしい演奏でした。 ・アンサンブルがすばらしかった。またの開催を期待しています。 ・しばらく生演奏の鑑賞を控えていましたが、やはり素晴らしい。ぜいたくなひとときを過ごさせていただきました。			
成果	弦楽四重奏というあまりメジャーでないジャンルでかつ通好みの選曲にもかかわらず200人近くの方が来場した。演奏者全員が国内外でプロとして活躍しており演奏の水準も非常に高く、アンケートの結果でも来場者全員が「大変良い、良い」と回答しており、公演そのものの満足度も高い結果となった。			



事業名	ウィーンV.ルジェリウスピアノ三重奏団			
目的	ウィーン仕込みの演奏と、曲の背景やウィーンの文化に関するトークで、敷居が高いと捉えられがちなクラシックコンサートを気軽に親しんで頂く機会とする。			
参加者数	174人	席数	267	集客率 65.2%
会場	小劇場			
開催日時	令和4年7月23日（土）14時開演			
チケット	全席指定 一般 2,000円 25歳以下 1,000円			
出演者	ウィーン V.ルジェリウスピアノ三重奏団			
市民参加	フロントスタッフ（alaクルーズ）			
事業内容	息の合った演奏とクラシック音楽の歴史や演奏曲、ウィーンの文化などの楽しいトークでクラシック音楽を身近に感じることでできるコンサートを開催した。 【プログラム】 エルガー：愛のあいさつ／J. ブラームス：ハンガリー舞曲第2番／マスネー：タイスの瞑想曲／J. シュトラウスⅡ：ポルカ・シュネル「憂いもなく」／J. シュトラウスⅡ：ワルツ「南国のバラ」／シューマ＝リスト：献呈／アイルランド民謡：ロンドンデリーの歌／F. クライスラー：愛の喜び／ドヴルジャーク：スラヴ舞曲 作品72 第2番／J. シュトラウスⅡ：ポルカ・シュネル「トリッチ・トラッチ」／J. シュトラウス：ワルツ「天界の音楽」			
経費状況	収入 39,690円	支出 92,013円	収益率 43.1%	
アンケート結果	・とても美しい音色で、3人の息もピッタリで楽しかったです。色々な趣向を取り入れて下さり、おもしろかった。また来たいです。 ・ウィーンへ行った時のことを思い出しました。とても感動しました。ありがとうございました。 ・素晴らしかったです。ウィーンの街並みが見えてきました。楽しかったです。			
成果	コロナ禍によって鑑賞公演から離れていたお客様が徐々に通常の状態に戻りつつあり、また可見市出身のピアニストの黒木由香の関係者なども多くご来場いただいたが、174人の集客数に留まり、目標の220人の達成には至らなかった。ただし、ご来場者のアンケート集計での公演の満足度は「大変良い」83.3%、「良い」8.3%と計91.6%を達成したことで、日本に居ながら、遠く離れた本場ウィーンの雰囲気や音楽に触れることが出来る貴重な場を提供することができた。			



事業名		劇団うりんこベイベーシアター『MARIMO』			
目的		0～24ヶ月の乳児たちを対象に、パフォーマーと乳児たちとで織り成す体験の芸術により、乳児たちの知覚の発達を促し、のちの人格形成の基礎を培うための手助けをする。言葉を発しない乳児が様々な心情を感じ取り、豊かな表現力や相手の気持ちを理解する心を育てる。			
参加者数		12人	席数	14	集客率 85.7%
開催日時		令和4年8月4日（木）11時、14時開演			
料金		一組 1,000円			
出演者		和田幸加、鷺見裕美			
事業内容		文化庁アートキャラバン事業の一環として、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会、愛知県芸術劇場との共同主催で実施した。0～2歳の子と親を対象にした、参加型の演劇公演を実施した。 演出：ジャッキー・e・チャン（韓国） 定員：各回 およこ7組 上演時間 40分			
経費状況		収入 100,000円	支出 59,761円	収益率 167.3%	
アンケート結果		・子供の視線や興味はどこに向いているのか、じっくりと観察が出来たり、じっくりと反応や表情を観ることが出来て楽しかった。 ・貴重な時間を過ごすことができました。コロナ禍でも実体験が大切だと思います。 ・とても充実した時間になりました。今日はいつもと生活リズムがズレてしまったので眠そうだったのですが、少しずつ慣れて引き込まれていき、とても楽しそうな姿を見ることができました。あっという間の時間で、私も気持ちの良い時間となりました。ありがとうございました。			
成果		タイトルが持つ響きのように水や風の音が心地よく響き渡る不思議な空間で、マリモの妖精のようになった俳優らが乳児と適度にコミュニケーションを育みながらその五感を優しく刺激していった。いつのまにか乳児らはまるで妖精たちのようにマリモと遊んだり、動き回ったりとその世界に自然と溶け込んでいく作品です。参加した保護者からは「子供への良い刺激になるし、何より普段身動きが取り辛い親の良い気分転換になります」との感想にある通り、コロナ禍で親の育児ストレスが増している状況だからこそ今回の体験がより一層のリラックス効果を生んだり、保護者同士のつながりの場になったりと乳児の変化と共に様々な相乗効果を生み出した。			



5 その他公益目的事業

事業名	私のあしながおじさんプロジェクト		
目的	地元企業・団体・個人から寄付を募り、それをもとに中高生へ舞台芸術に触れる機会を創出する。また、 可児市「要保護及び準要保護児童生徒就学援助費」または「児童扶養手当」を受給している家族（小学生以上の子どもと保護者）を対象とした「私のあしながおじさんプロジェクト For Family」を市教育委員会、市福祉支援課協力のもと実施し、社会的弱者である家庭へ舞台芸術鑑賞機会を用意することで、社会包括機関としてのアーラの役割を果たす。		
対象事業	①新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによるオープン・シアター・コンサート ②ウィーンV.ルジェリウスピアノ三重奏団 ③かに寄席（納涼） ④新日本フィルハーモニー交響楽団 サマー・コンサート 2022（中止） ⑤森山威男ジャズナイト 2022 ⑥ala Collection シリーズ vol.13『百日紅、午後四時』 ⑦反田恭平プロデュース ジャパン・ナショナル・オーケストラ ⑧文学座公演『欲望という名の電車』 ⑨シリーズ恋文 vol.12 ⑩新日フィルメンバーと仲間たち ⑪古典落語とトークで味わう風間杜夫の名人会 ⑫オペラシアターこんにゃく座『森は生きている』 ⑬新日本フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤー・コンサート 2023 ⑭かに寄席（初席）		
あしながおじさん	14 社（者） 丸理印刷（株）、（有）可児板金工業所、（株）新和建設美濃加茂支店、東濃建物管理（株）、ヤマハサウンドシステム（株）、丸茂電機（株）、可児ライオンズクラブ、（有）亀谷電気商会、カヤバ（株）、信和工業（株）、匿名（個人）4 件（順不同・敬称略）		
参加者	鑑賞者 延べ 128 人		
事業内容	企業・団体・個人から寄付をいただき、その金額分を公募した中高生、学校へ行きたくても行けない子どもたちの通うスマイリングルームの児童・生徒、就学援助費・児童扶養手当を受給する家庭にチケットとしてプレゼントし、公演を鑑賞していただいた。また、鑑賞後子どもたちからあしながおじさんへ毎回手紙を書いていただいた。		
経費状況	収入 588,148 円	支出 397,468 円	収益率 148.0%
アンケート結果	・遠くに遊びに行くこともなく楽しみが少ない中で、今日を心待ちにしていました。曲独楽の紋之助さんのトトロの綱渡りは会場の手拍子がすごかったです。（かに寄席 納涼鑑賞・小学5年生） ・全部の楽器の音が合わさったとき、おもしろかったです。演奏する人たちはみんな一生懸命演奏していました。会場が暗くなって映画みたいでした。（森山威男ジャズナイト2022鑑賞・小学2年生） ・恋文の送り主によって、昔を懐かしんで笑ったり、いま大切な人を抱きしめたり、これから歩む道を夢見たり、将来の不安に疲れていた心が柔らかくなるような時間でした。（シリーズ恋文 vol.12鑑賞・高校2年生） ・オペラを観たのは初めてですが、あっという間に終わってしまうほど楽しく過ごすことができ、僕の感情が場面場面で変化するのを楽しむ事ができました。（オペラシアターこんにゃく座「森は生きている」鑑賞・小学6年生） ・聴く前からとても興奮していました。演奏が始まるなり「スターウォーズ」のあの広大な宇宙が連想される華やかで派手な音が響き、鳥肌とワクワクがグワーとききました。（新日本フィル ニューイヤー・コンサート2023鑑賞・中学2年生） ・アンコールで指揮の角田さんが観客席の方を向いて私たちの手拍子を指揮してくださり、ステージと客席がひとつの音楽になって思わずマスクの下で笑みがこぼれました。（新日本フィル ニューイヤー・コンサート2023鑑賞・高校3年生）		
成果	さまざまなジャンルの公演を対象とすることで子ども達にとって「選べる楽しさ」を目指したが、鑑賞者数は目標数値に届かなかった。For Family 制度も鑑賞者の 4 割を占めているが、対象公演の中には鑑賞希望のない公演もあったため、公演の見どころなど、子ども達や親子に分かりやすい解説をチラシに添えるなどしたい。スマイリングルームを対象とした「オープン・シアター・コンサート」では、ワークショップへの参加は難しい児童生徒も一緒に鑑賞に訪れ手紙を書いてくれるなど、アーラと教室との多面的な接点のひとつとなっている。「チケット贈呈式」は岐阜県が「BA5 対策強化宣言」期間を延長したことを鑑み延期（その後中止決定）となっていたが、令和 5 年度の公演での実現へ向けて準備を進めている。 協賛企業・団体・個人は継続支援の皆様に残っているため、今後、寄付金の活用範囲を広げていくにあたり新規のあしながおじさん獲得のためにも、プロジェクトの魅力や意義が紹介できる資料が必要と考える。		

6 新聞掲載記事

掲載日		掲載紙	掲載事業
令和4年	4月9日	中日新聞	「キネマ倶楽部」コメディ映画上映 可児のアーラ
令和4年	4月15日	中日新聞	音楽の絵本フェアリーテール
令和4年	5月4日	朝日新聞	公共劇場の力 ゆるやかにつながり孤立防ぐ
令和4年	5月20日	中日新聞	「一五一会ライブ」 西可児中生が演奏体験、合奏も成功
令和4年	6月4日	中日新聞	可児「未来の演奏家プロジェクト」
令和4年	6月15日	岐阜新聞	来月でアーラ開館20周年で「元気部」設立
令和4年	6月17日	中日新聞	来月27日で開館20周年
令和4年	6月17日	中日新聞	「市民活動支援」客席案内役などの劇場スタッフ募集
令和4年	6月23日	中日新聞	「新日フィルおでかけコンサート」 可児の小学校に新日本フィル出張
令和4年	7月1日	朝日新聞	ala公演情報(石川さゆり・サマーコンサート・BEGIN)
令和4年	7月21日	中日新聞	可児でエイブルアート展
令和4年	7月22日	中日(夕刊)	あの人に迫る 長谷川彰子
令和4年	8月18日	中日新聞	「新日本フィル・サマー・コンサート」コンサート中止
令和4年	9月10日	中日新聞	劇「百日紅、午後四時」
令和4年	9月10日	岐阜新聞	「百日紅、午後四時」アーラ演劇新たな一歩
令和4年	9月15日	朝日新聞	「百日紅、午後四時」人生100年時代にもう一花
令和4年	9月18日	中日新聞	「百日紅、午後四時」俳優 市毛良江さん
令和4年	9月22日	中日新聞	可児で26日「百日紅、午後四時」開演
令和4年	9月22日	読売新聞	「百日紅、午後四時」公演情報
令和4年	9月28日	中日新聞	「百日紅、午後四時」市毛さん舞台 満員御礼
令和4年	11月5日	中日新聞	可児「アーラ映画祭」きょうから4日間
令和4年	11月17日	中日新聞	可児市美術展 始まる
令和4年	11月17日	岐阜新聞	可児市美術展 洋画や日本画 市民の秀作
令和4年	11月25日	中日新聞	「恋文」心に秘めた朗読劇
令和4年	11月25日	岐阜新聞	朗読劇「恋文、大切に代読」
令和4年	12月3日	中日新聞	「新日本フィルメンバーと仲間たち」弦楽四重奏 可児で晴れ舞台
令和4年	12月8日	朝日新聞	公演情報
令和5年	3月8日	中日新聞	「祈りのコンサート」可児で11日 東日本復興支援コンサート
令和5年	3月10日	岐阜新聞	「祈りのコンサート」あすアーラで演奏会

7 アーラフレンドシップ会員集計表

令和5年3月31日現在

(1) 地域別集計表

(単位：人)

岐阜県	令和3年度	令和4年度	増減
可児市	5,833	6,400	567
美濃加茂市	1,071	1,207	136
多治見市	1,221	1,358	137
加茂郡	798	883	85
可児郡	528	562	34
各務原市	465	545	80
岐阜市	425	481	56
土岐市	269	303	34
関市	252	299	47
瑞浪市	64	75	11
大垣市	66	73	7
美濃市	33	36	3
中津川市	71	78	7
恵那市	42	50	8
その他	286	334	48
岐阜県計	11,424	12,684	1,260

愛知県	令和3年度	令和4年度	増減
名古屋市	940	1,059	119
犬山市	464	526	62
春日井市	233	269	36
江南市	90	103	13
一宮市	135	153	18
小牧市	120	137	17
その他	932	1,062	130
愛知県計	2,914	3,309	395
他県計	1,247	1,431	184
合計	15,585	17,424	1,839

(2) 男女別集計表

(単位：人)

	令和3年度			令和4年度				増減		
年齢構成	男	女	計	男	女	計	構成比	男	女	計
0～9歳	4	5	9	4	3	7	0.04%	0	△ 2	△ 2
10～19歳	23	36	59	27	48	75	0.43%	4	12	16
20～29歳	139	323	462	112	313	425	2.44%	△ 27	△ 10	△ 37
30～39歳	481	1,142	1,623	435	1,026	1,461	8.38%	△ 46	△ 116	△ 162
40～49歳	1,001	2,318	3,319	1,006	2,525	3,531	20.27%	5	207	212
50～59歳	1,334	2,079	3,413	1,415	2,453	3,868	22.20%	81	374	455
60～69歳	1,555	1,824	3,379	1,694	2,207	3,901	22.39%	139	383	522
70～79歳	1,154	1,333	2,487	1,432	1,518	2,950	16.93%	278	185	463
80～89歳	329	388	717	458	564	1,022	5.87%	129	176	305
90歳以上	43	74	117	67	117	184	1.06%	24	43	67
合計	6,063	9,522	15,585	6,650	10,774	17,424	100.00%	587	1,252	1,839

IV 施設概要

可児市文化創造センター a l a 施設概要

■施設の規模	敷地面積	35,344.54 m ²
	建築面積	8,743.29 m ²
	延床面積	18,410.87 m ²
	構造	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造
	駐車台数	437 台 一般 388 台、身障者用 4 台
		関係者用 21 台（うち大型用 4 台）、身障者用 3 台
		レストラン 一般 19 台、身障者用 2 台

■施設の特徴	二つの多目的ホールと様々な文化創造空間・練習施設を持ち、建設・運営に市民参加を取り入れた総合文化施設
--------	--

■客席収容人数

主劇場（宇宙のホール）

客席総数	1,019 席
	1 階席 691 席
	2 階席 161 席
	3 階席 167 席
オーケストラピット使用時	876 席
	1 階席 548 席
	2 階席 161 席
	3 階席 167 席

この他に車椅子席 4 席

小劇場（虹のホール）

客席総数	311 席
	1 階席 263 席
	2 階席 48 席
スラストステージ使用時	221 席
	1 階席 173 席
	2 階席 48 席

この他に車椅子席 2 席

■諸室

部屋	面積等
音楽ロフト	約 196 m ²
演劇ロフト	約 210 m ²
美術ロフト	約 238 m ²
演劇練習室	約 88 m ²
映像シアター	約 115 m ²
水と緑の広場	約 3,000 m ²
音楽練習室①	約 27 m ²
音楽練習室②	約 20 m ²
音楽練習室③	約 20 m ²
ギャラリー	約 61.5 m ²
木作業室	約 70 m ²
ワークショップルーム (洋室)	約 100 m ²
ワークショップルーム (和室)	約 52 m ²
研修室	約 48 m ²
レセプションホール	約 235 m ²
会議室	約 20 m ²
控室	約 13.5 m ²

